

令和8年度
住民満足度調査結果

令和8年9月
会津坂下町 政策財務課

目次

1. 住民満足度調査の概要	1
2. 設問の構成	2
3. アンケート調査結果	4
問 1 回答者の属性について	4
問 2 会津坂下町まちづくり基本条例の認知度について	5
問 3 第六代会津坂下町振興計画の認知度について	5
問 4 会津坂下町の行政サービスについて	6
問 5 会津坂下町の住みやすさについて	7
問 6 会津坂下町に対する愛着について	8
問 7 会津坂下町への今後の定住意向について	9
問 8－1 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）	1 0
問 8－2 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）	1 5
問 9 町の情報の取得方法について	2 0
問 1 0 町の情報の取得方法を選んだ理由について	2 1
問 1 1 「広報あいづばんげ」について	2 2
問 1 2 問 1 1 で「まったく読まない」と回答した理由について	2 2
問 1 3 「広報あいづばんげ」の配付方法について	2 3
問 1 4 町のホームページについて	2 4

問 1 5	S N S の利用について	2 5
問 1 6	町の公式 S N S について	2 6
問 1 7	問 1 6 で「どれも登録してない」と回答した理由について	2 7
4.	前回調査結果との比較（問 2 ～問 8 － 1 ・ 2 ）	2 8

1. 住民満足度調査の概要

(1) 目的

第六次会津坂下町振興計画の施策ごとの満足度及び重要度を調査・分析しその結果を実施計画に反映させることを目的としています。

また、今回の調査では、町の広報の現状を把握するため新たに広報に関する設問を設けました。

なお、本調査は、振興計画の計画期間である令和11年度まで毎年実施いたします。

(2) 調査対象

町内在住の18歳から79歳までの町民（令和8年4月1日時点）

(3) 抽出方法

地区別、年代別、性別に偏りが無いよう層化した上で、無作為抽出した1,300名（層化無作為抽出）

(4) 調査期間

令和8年4月24日（金）～5月11日（月）

(5) 調査方法

郵送による調査票の発送・回収及びWeb回答

(6) 回答件数

415件（回答率約31.9%）

2. 設問の構成

本調査は、住民の皆さんの生活の現状や町の将来像などについて調査をするため、全17問（問9～問17は広報に関する調査）の質問により構成されています。

設問内容について

- 〔問1〕 回答者の属性について
- 〔問2〕 「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について
- 〔問3〕 「第六代会津坂下町振興計画」の認知度について
- 〔問4〕 会津坂下町の行政サービスについて
- 〔問5〕 会津坂下町の住みやすさについて
- 〔問6〕 会津坂下町に対する愛着について
- 〔問7〕 会津坂下町への今後の定住意向について
- 〔問8－1〕 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）
- 〔問8－2〕 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）
- 〔問9〕 町の情報の取得方法について
- 〔問10〕 町の情報の取得方法を選んだ理由について
- 〔問11〕 「広報あいづばんげ」について
- 〔問12〕 問11で「まったく読まない」と回答した理由について
- 〔問13〕 「広報あいづばんげ」の配付方法について
- 〔問14〕 町のホームページについて
- 〔問15〕 SNSの利用について

〔問 1 6〕 町の公式 SNS について

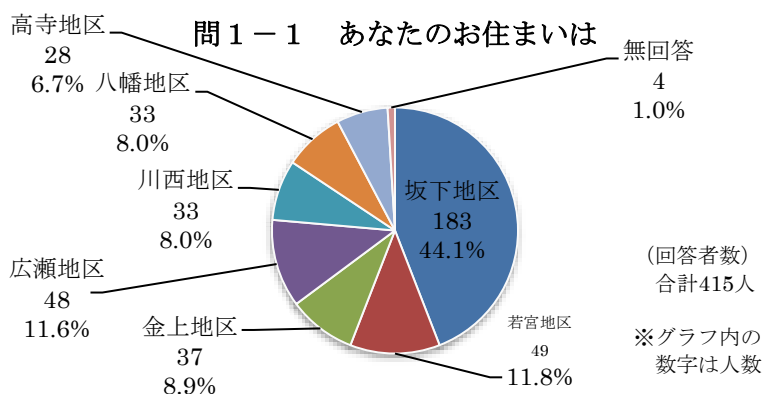
〔問 1 7〕 問 1 6 で「どれも登録してない」と回答した理由について

※調査結果を読むにあたって

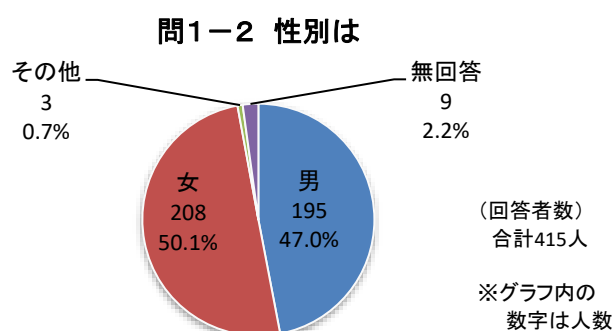
調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 1 0 0 %にならない場合があります。

前回調査結果についても掲載し、今回調査結果との比較をしています。

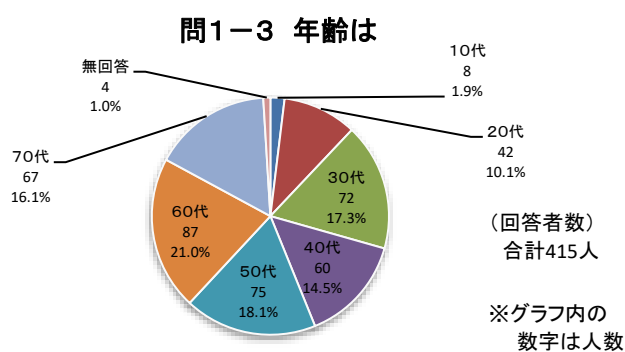
3. アンケート調査結果【問1】回答者の属性について



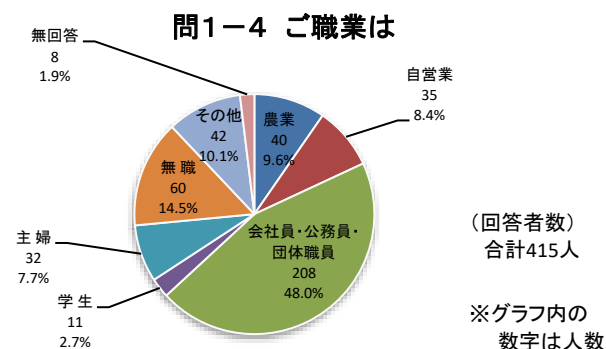
地区	人数
坂下地区	183人
若宮地区	49人
金上地区	37人
広瀬地区	48人
川西地区	33人
八幡地区	33人
高寺地区	28人
無回答	4人
合計	415人



性別	人数
男	195人
女	208人
その他	3人
無回答	9人
合計	415人



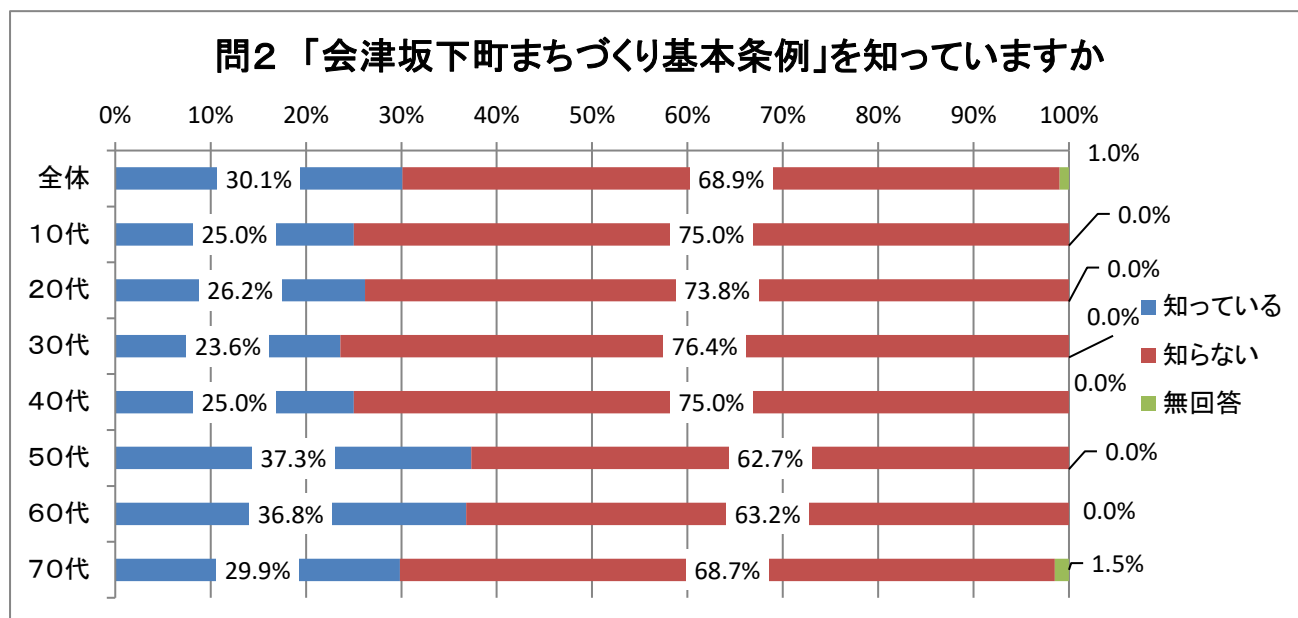
年齢	人数
10代	8人
20代	42人
30代	72人
40代	60人
50代	75人
60代	87人
70代	67人
無回答	4人
合計	415人



職業	人数
農業	40人
自営業	35人
会社員・公務員・団体職員	187人
学生	11人
主婦	32人
無職	60人
その他	42人
無回答	8人
合計	415人

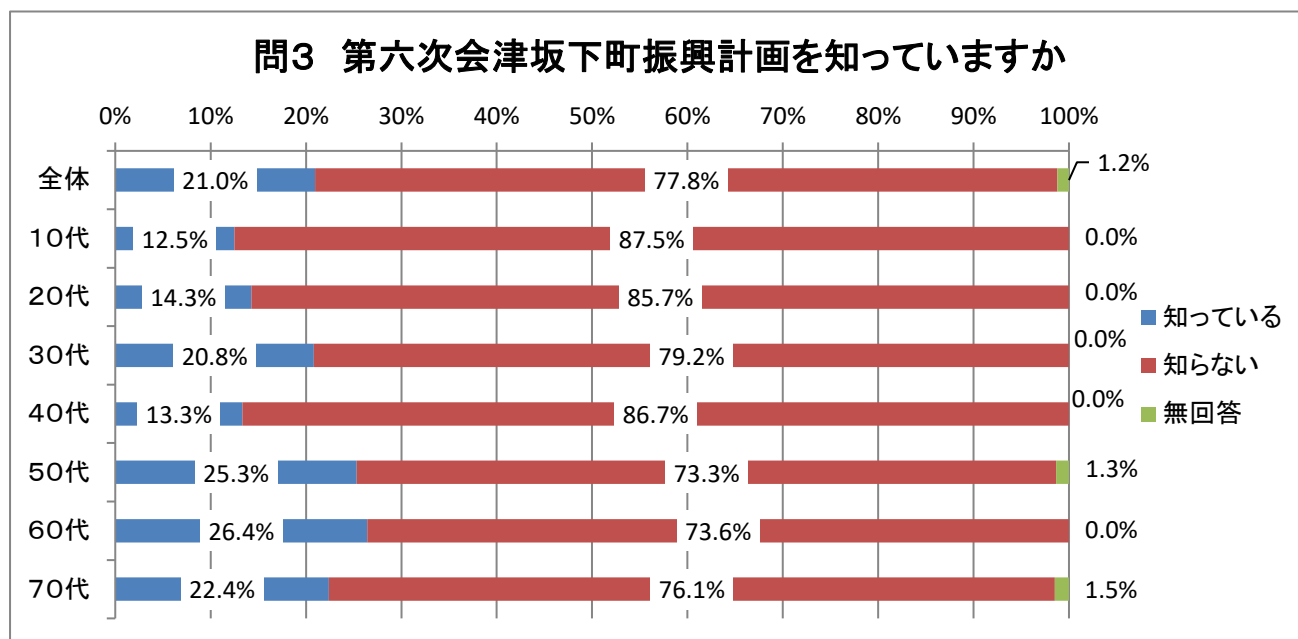
【問2】会津坂下町まちづくり基本条例の認知度について

- ・全体で「知っている」と回答した人の割合は30.1%という結果でした。「知っている」と回答した人の割合が最も高かったのは50代でした。



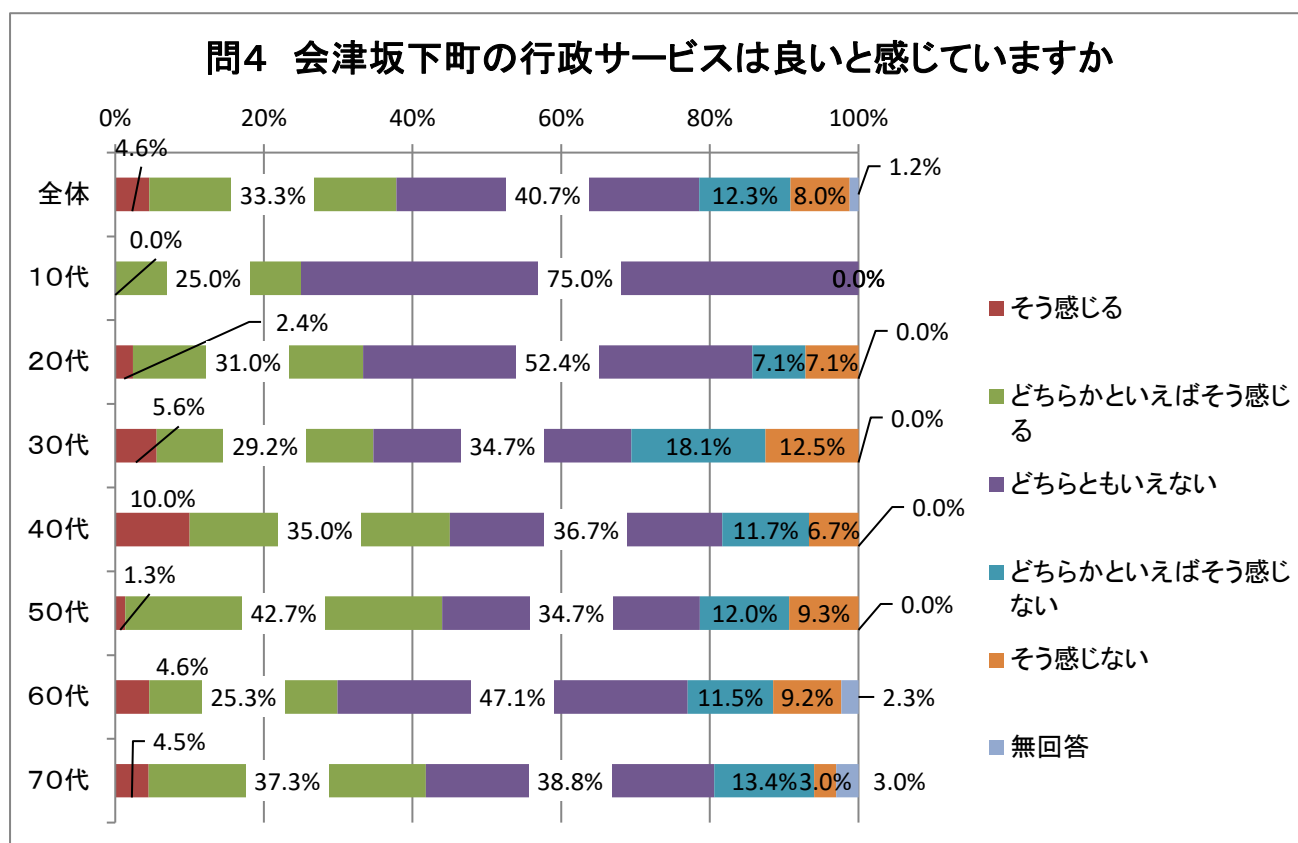
【問3】第六代会津坂下町振興計画の認知度について

- ・全体で「知っている」と回答した割合は21%という結果でした。「知っている」と回答した人の割合が最も高かったのは60代でした。



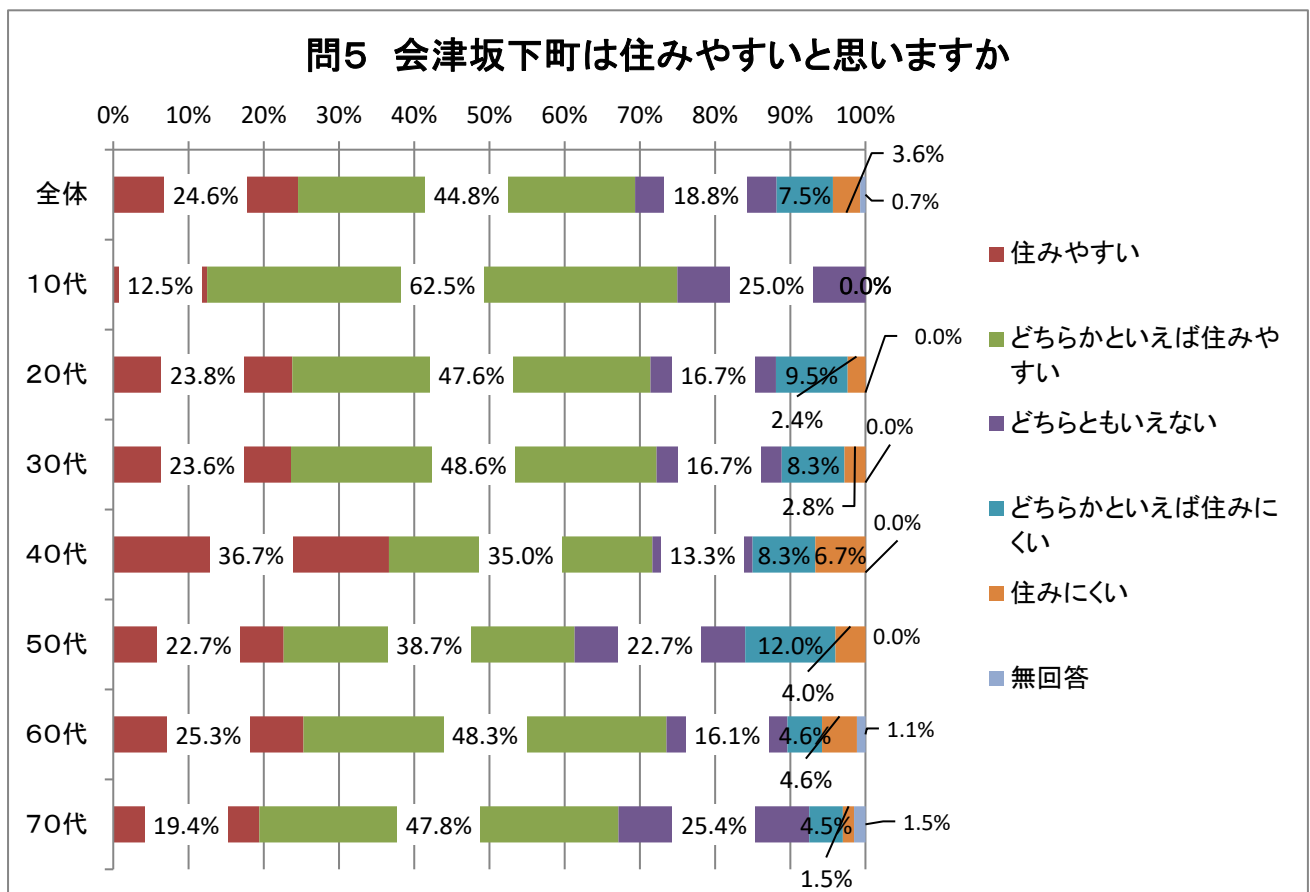
【問4】会津坂下町の行政サービスについて

- ・全体では「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高い結果となりました。
- ・全年代の中で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の合計割合が最も高かったのは40代でした。
- ・全年代の中で「そう感じない」、「どちらかといえばそう感じない」と回答した割合が最も高かったのは30代でした。



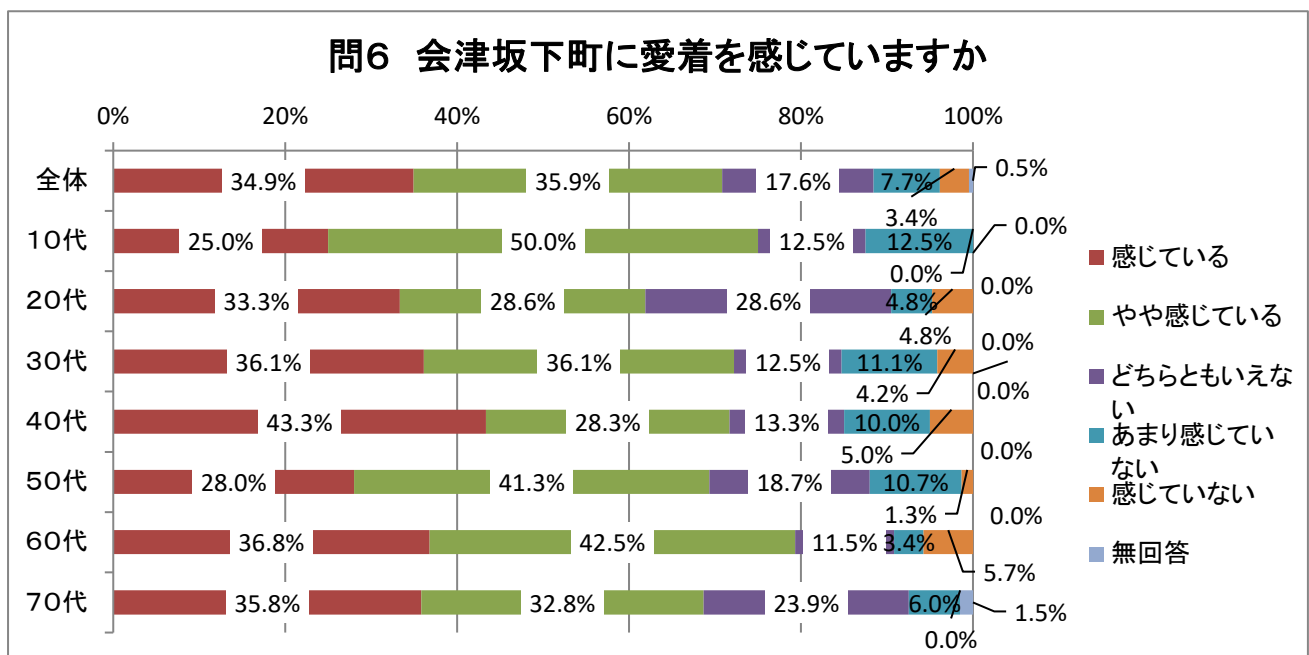
【問5】会津坂下町の住みやすさについて

- ・全体では「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が最も高く、「住みやすい」と回答した人と合わせると約7割の人が会津坂下町は住みやすいと思っているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・全年代の中で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の合計割合が高かったのは50代で約16%という結果でした。
- ・50代では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が全年代の中では最も低い結果でした。



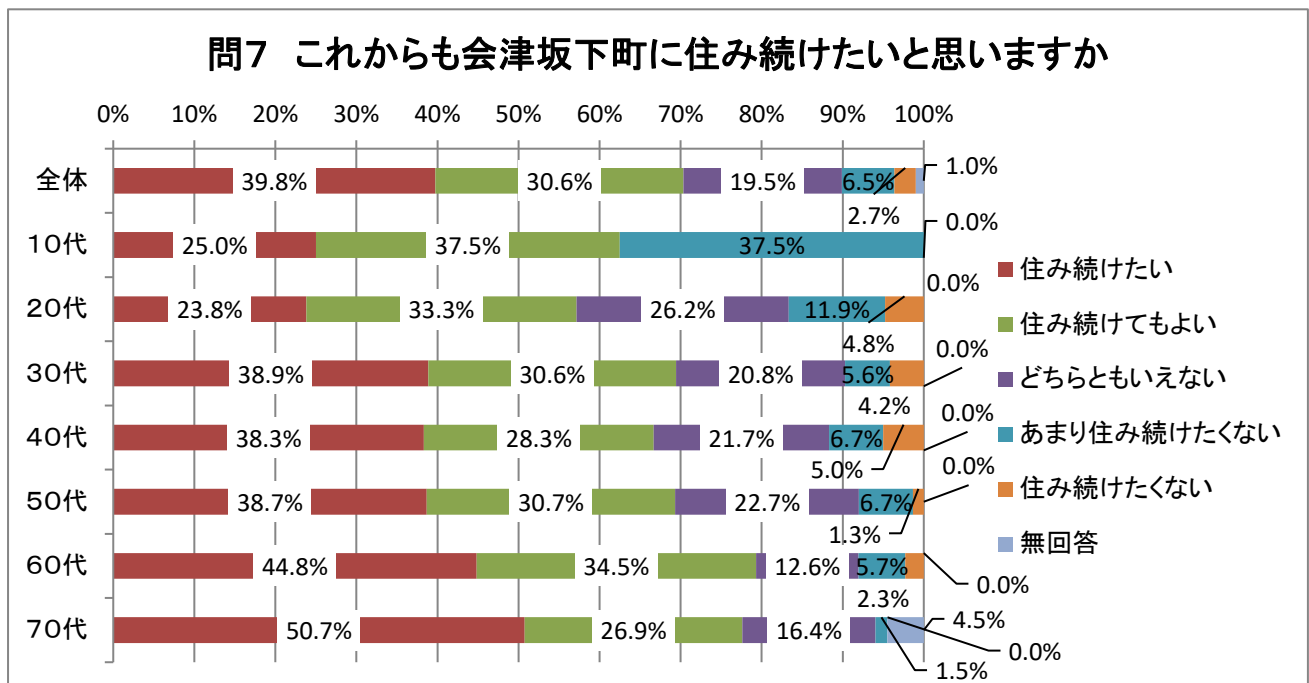
【問6】会津坂下町に対する愛着について

- ・全体では「感じている」「やや感じている」と回答した人の割合が最も高く、7割以上の人が会津坂下町に愛着を感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「感じている」と回答した人の割合が最も高かったのは40代で、「感じている」「やや感じている」と回答した人の合計割合が最も高かったのは60代でした。
- ・全年代の中で「感じていない」「あまり感じていない」と回答した人の合計割合が高かったのは30代で約15%という結果でした。



【問7】会津坂下町への今後の定住意向について

- ・全体では「住み続けたい」と回答した人の割合が39.8%と最も高く、「住み続けてもよい」と回答した人と合わせると7割以上の人が会津坂下町に住み続けたいと感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住み続けたい」と回答した人の割合が最も高かったのは70代で、約50%、次いで60代で約44%という結果でした。
- ・全年代の中で「住み続けたくない」「あまり住み続けたくない」と回答した人の合計割合が高かったのは10代で約37.5%という結果でした。
- ・全年代の中で「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高かったのは20代で、約26.2%でした。



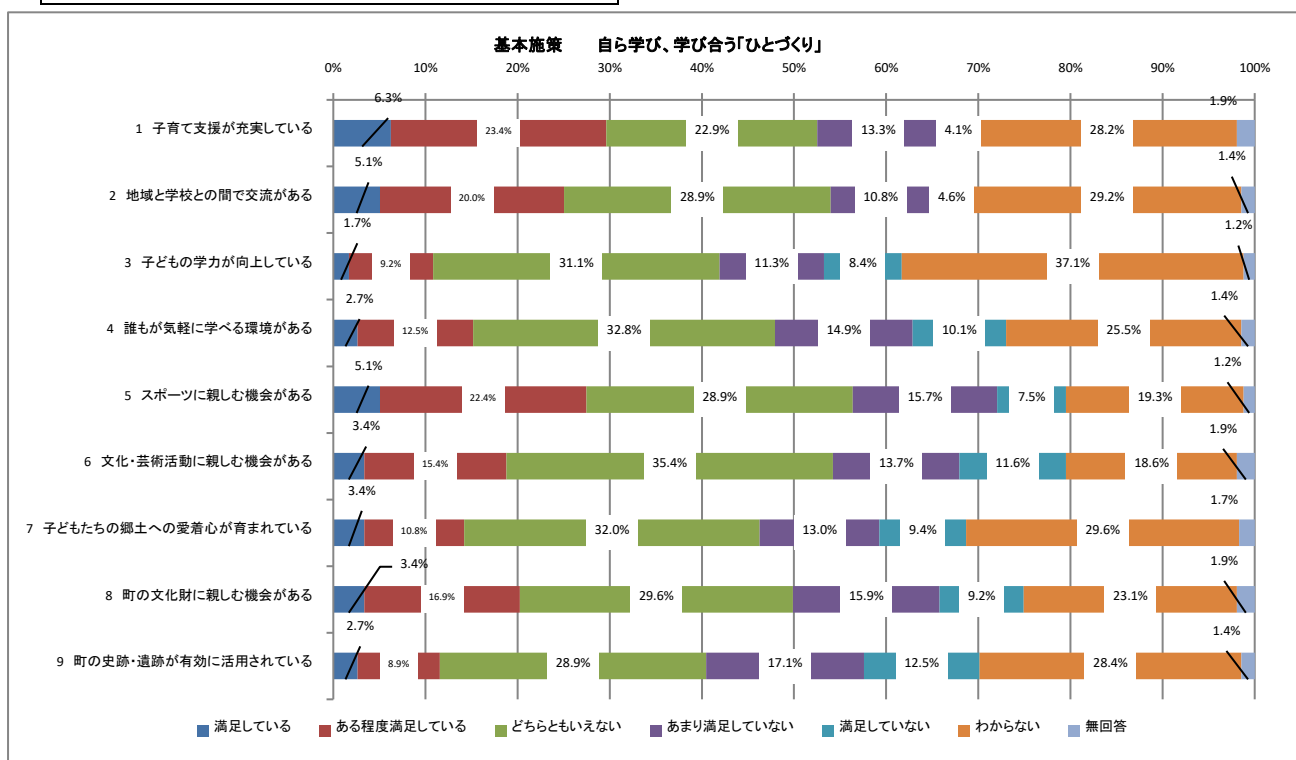
【問８－１】まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）

第六次会津坂下町振興計画では、まちの将来像「やっぱり“ばんげ”がいい！～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～」の実現のため、以下の４つの基本施策を掲げています。

- I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」
- II 安全・健康で、快適な「くらしづくり」
- III 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」
- IV 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」

この設問では、上記の基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれまでの満足度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、及び「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

1 子育て支援が充実している

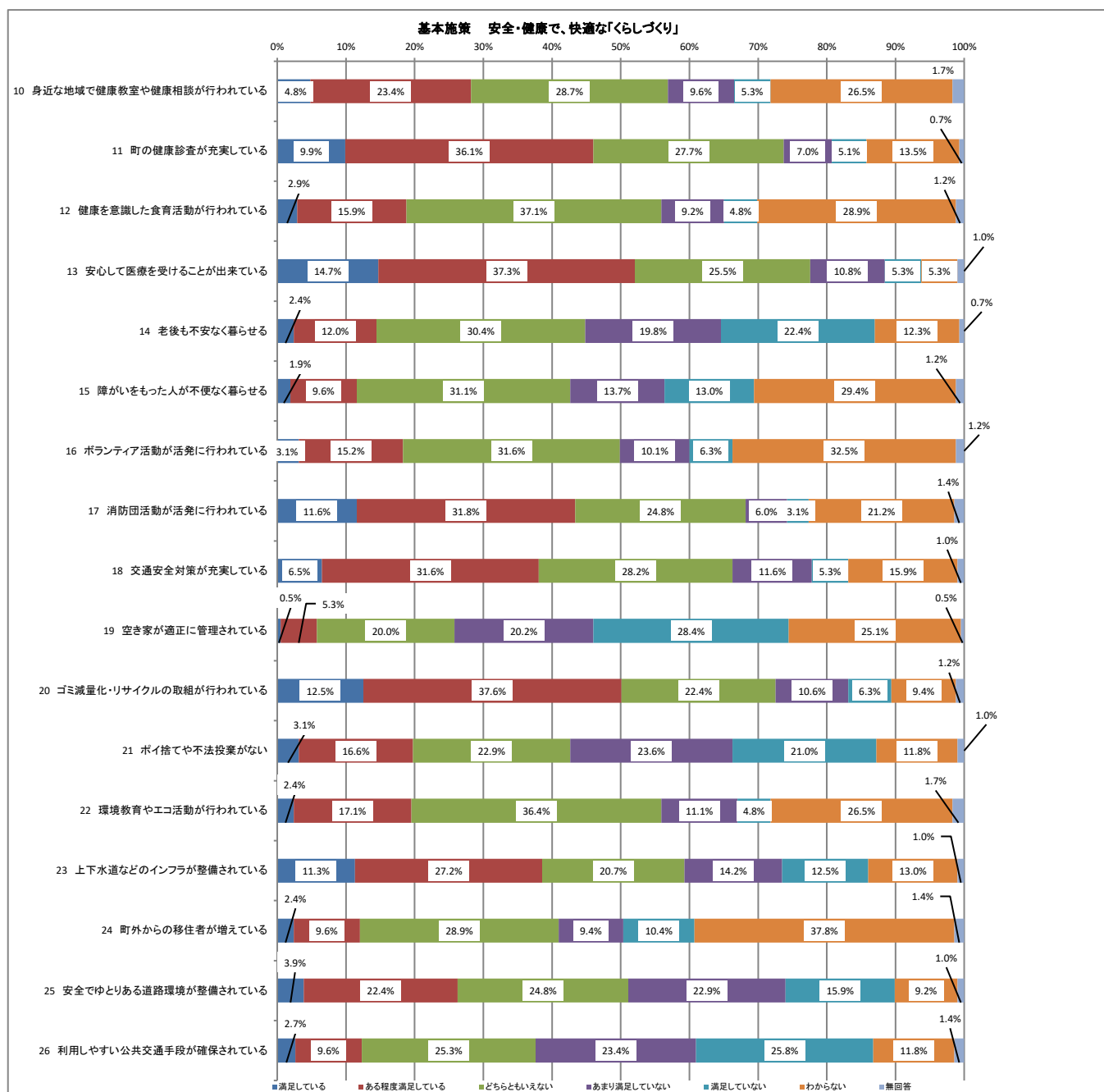
29.7%

『満足していない』の上位項目

9 町の史跡・遺跡が有効に活用されている

29.6%

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

13 安心して医療を受けることが出来ている

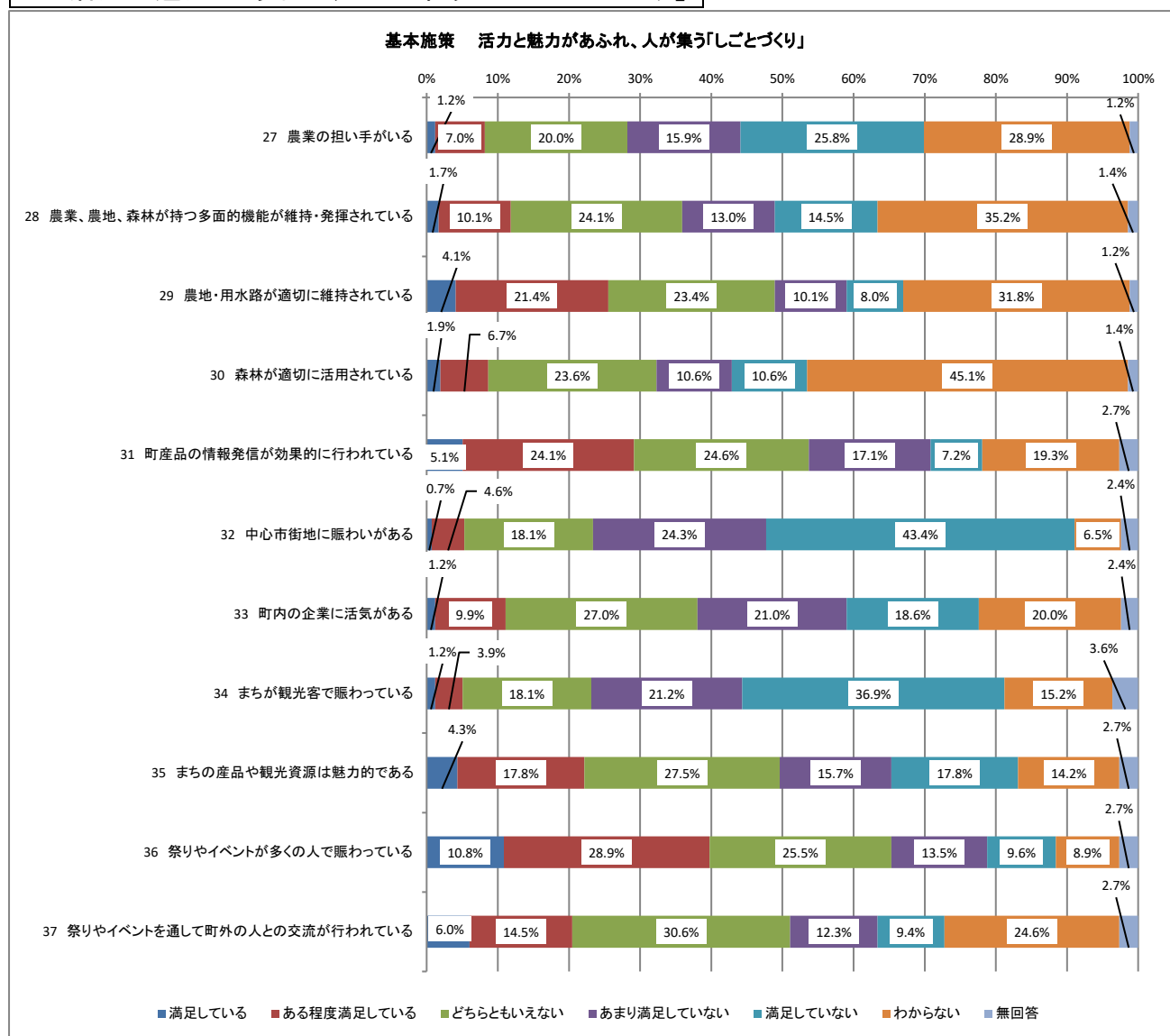
52.0%

『満足していない』の上位項目

26 利用しやすい公共交通手段が確保されている

49.2%

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

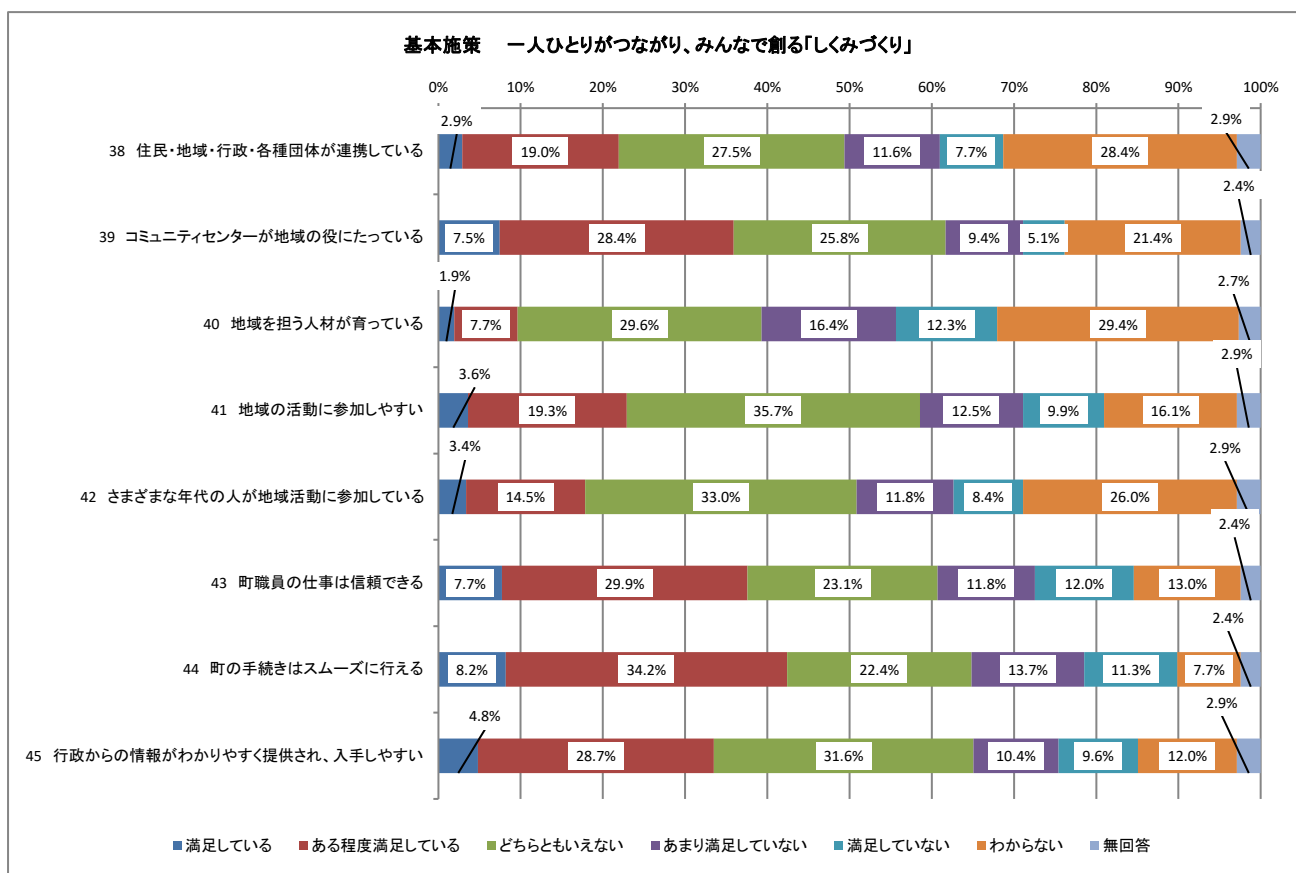
『満足している』の上位項目

36 祭りやイベントが多くの人で賑わっている	39.7%
------------------------	-------

『満足していない』の上位項目

32 中心市街地に賑わいがある	67.7%
-----------------	-------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	42.4%
-------------------	-------

『満足していない』の上位項目

40 地域を担う人材が育っている	28.7%
------------------	-------

【問８－１】のすべての項目の中で、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

１３	安心して医療を受けることが出来ている	５２．０％
２０	ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている	５０．１％
１１	町の健康診査が充実している	４６．０％

『満足していない』の上位項目

３２	中心市街地に賑わいがある	６７．７％
３４	まちが観光客で賑わっている	５８．１％
２６	利用しやすい公共交通手段が確保されている	４９．２％

以上の結果より、『満足している』と回答した人が半数を超えたのは４５項目中２項目のみでした。

一方、『満足していない』と回答した人の割合が最も高い項目では６７．７％でした。

【参考】令和７年実施結果

『満足している』の上位項目

１３	安心して医療を受けることが出来ている	５０．４％
４４	町の手続きはスムーズに行える	４４．３％
２０	ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている	４２．８％

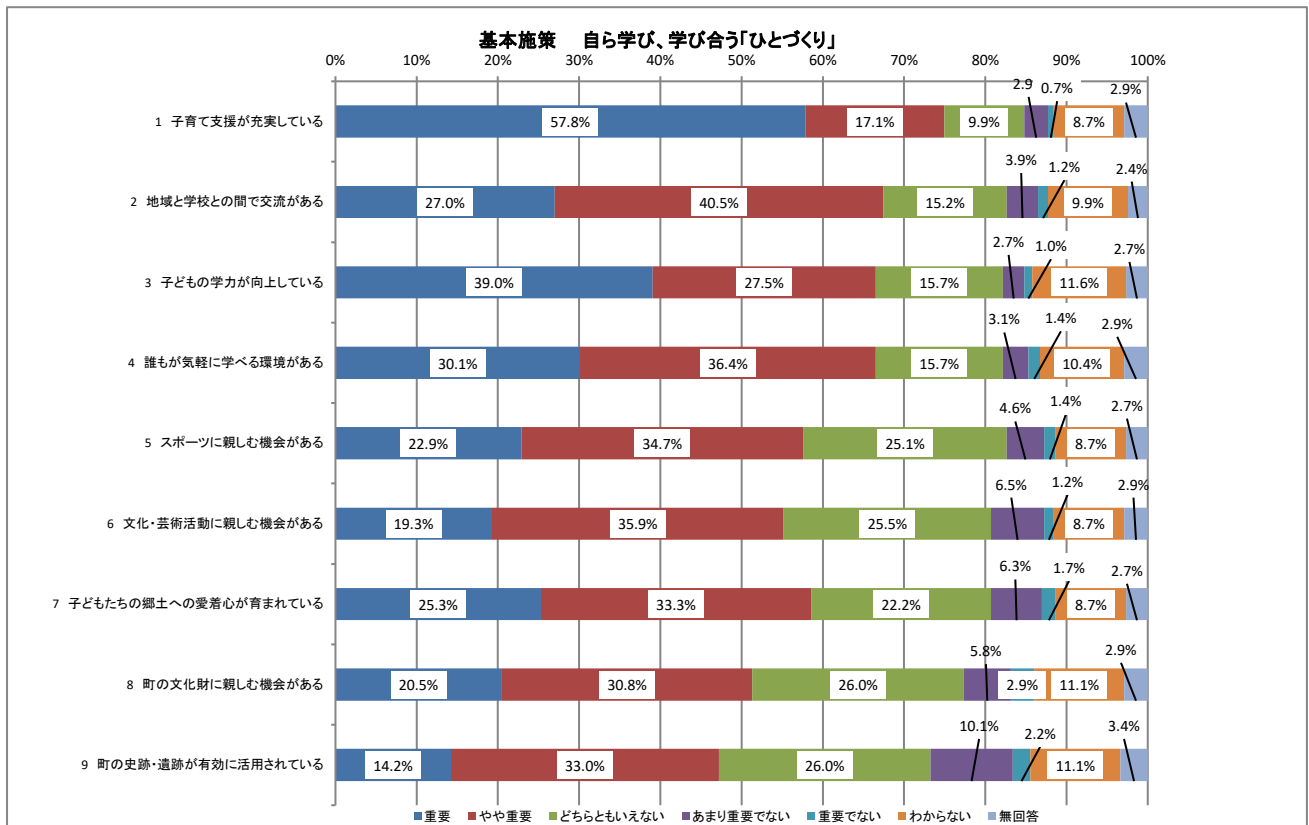
『満足していない』の上位項目

３２	中心市街地に賑わいがある	６９．０％
３４	まちが観光客で賑わっている	６７．８％
２６	利用しやすい公共交通手段が確保されている	５２．９％

【問８－２】まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）

この設問では、【問８－１】と同様に４つの基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれからの重要度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

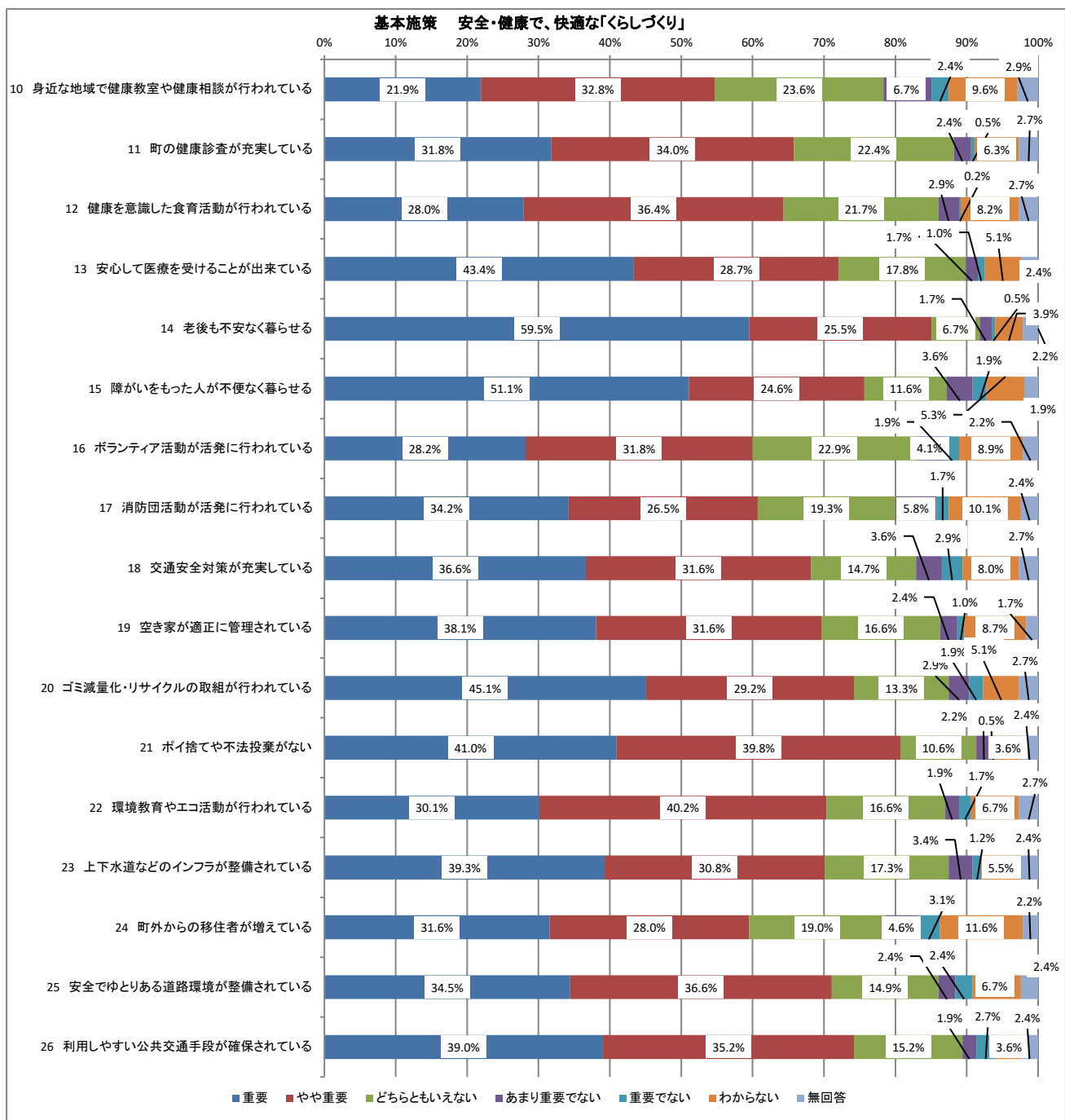
『重要』の上位項目

1 子育て支援が充実している	74.9%
----------------	-------

『重要でない』の上位項目

9 町の史跡・遺跡が有効に活用されている	12.3%
----------------------	-------

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

14 老後も不安なく暮らせる

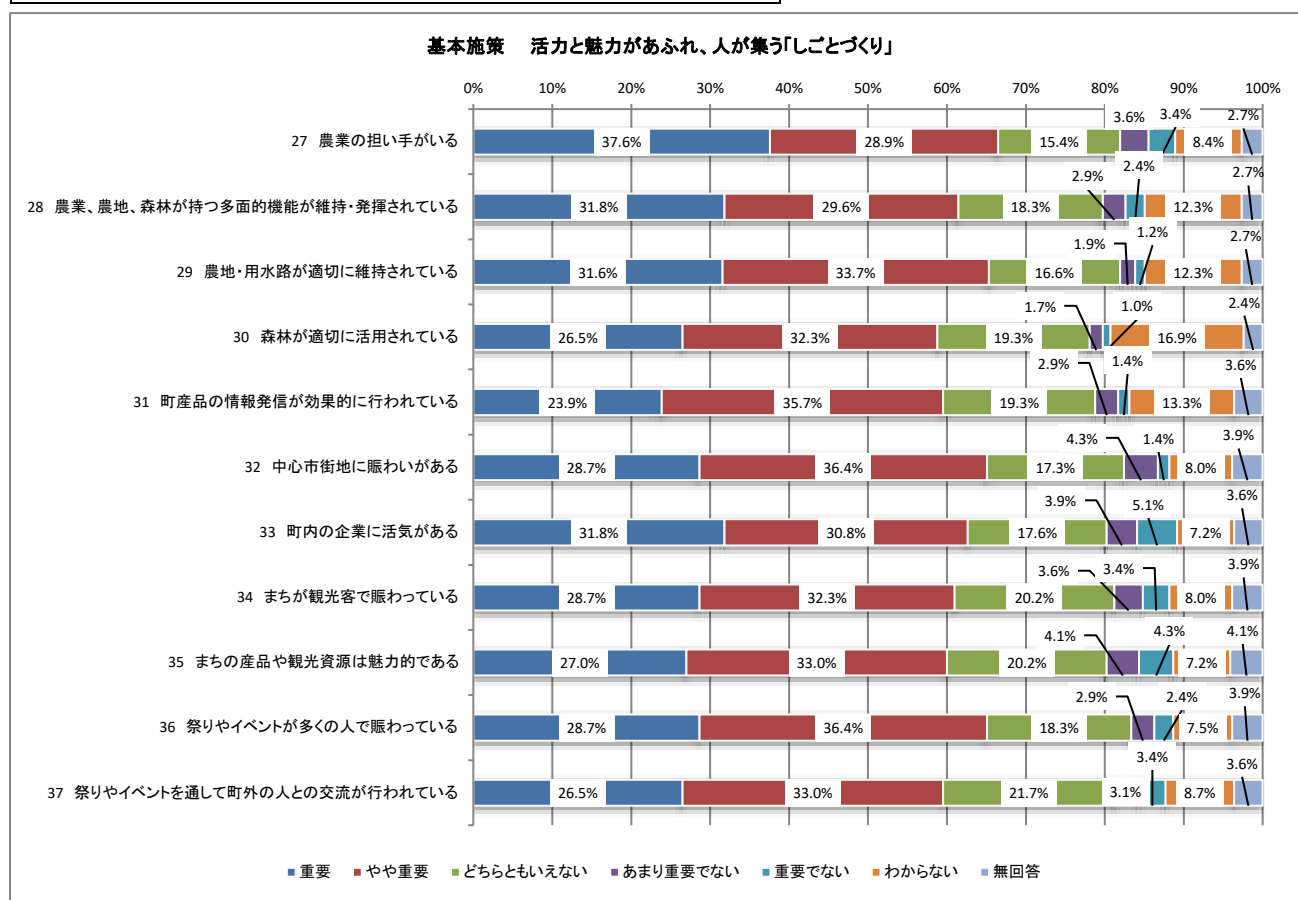
85.0%

『重要でない』の上位項目

10 身近な地域で健康教室や健康相談が行われている

9.1%

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

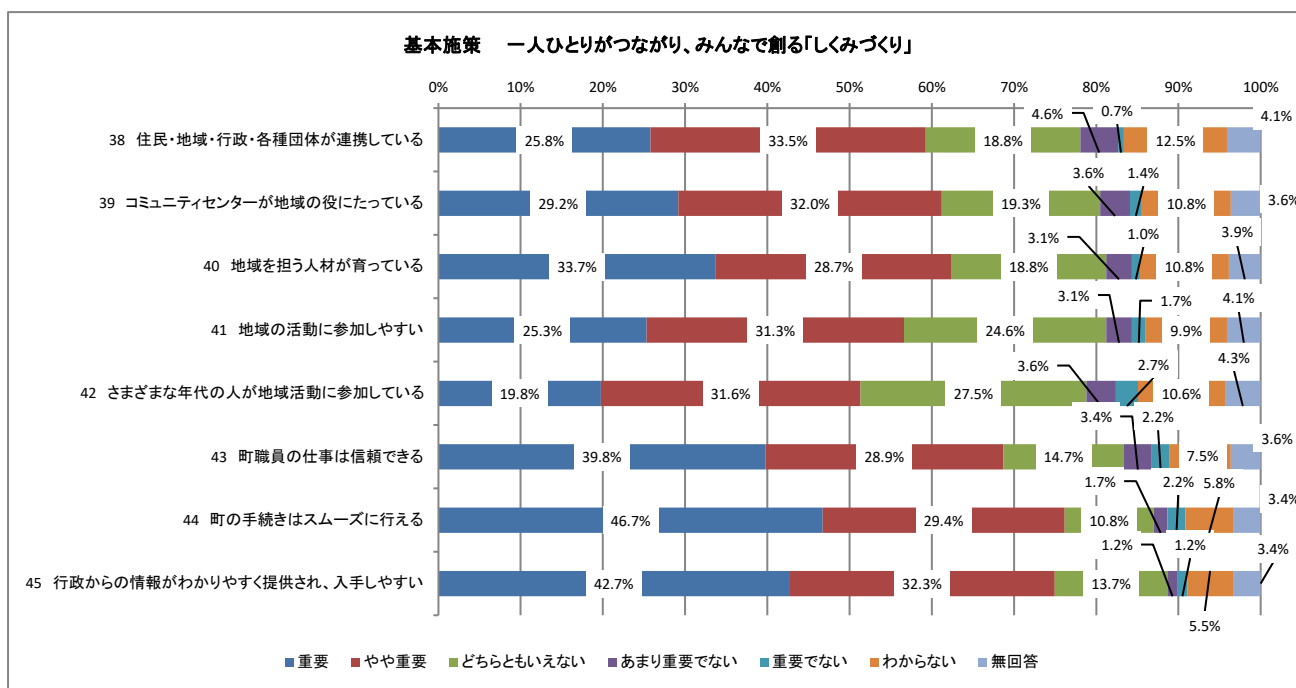
『重要』の上位項目

27 農業の担い手がいる	66.5%
--------------	-------

『重要でない』の上位項目

33 町内の企業に活気がある	9.0%
----------------	------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	76.1%
-------------------	-------

『重要でない』の上位項目

42 さまざまな年代の人が地域活動に参加している	6.3%
--------------------------	------

【問８－２】のすべての項目の中で、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

1 4	老後も不安なく暮らせる	8 5 . 0 %
2 1	ポイ捨てや不法投棄がない	8 0 . 8 %
4 4	町の手続きはスムーズに行える	7 6 . 1 %

『重要でない』の上位項目

9	町の史跡・遺跡が有効に活用されている	1 2 . 3 %
1 0	身近な地域で健康教室や健康相談が行われている	9 . 1 %
3 3	町内の企業に活気がある	9 . 0 %

重要度についてお聞きしたこの設問では、ほとんどの項目について半数以上の人が『重要』だと考えているという結果になりました。

『重要でない』と回答した人の割合は、もっとも高い項目で約 1 2 . 3 % でした。

以上の結果から、これからの重要度としては、ほとんどの取り組みについて重要であると考えている人が多いという結果になりました。そのなかでも、特に生活に関わる項目の重要度が高い傾向がありました。

【参考】令和 7 年実施結果

『重要』の上位項目

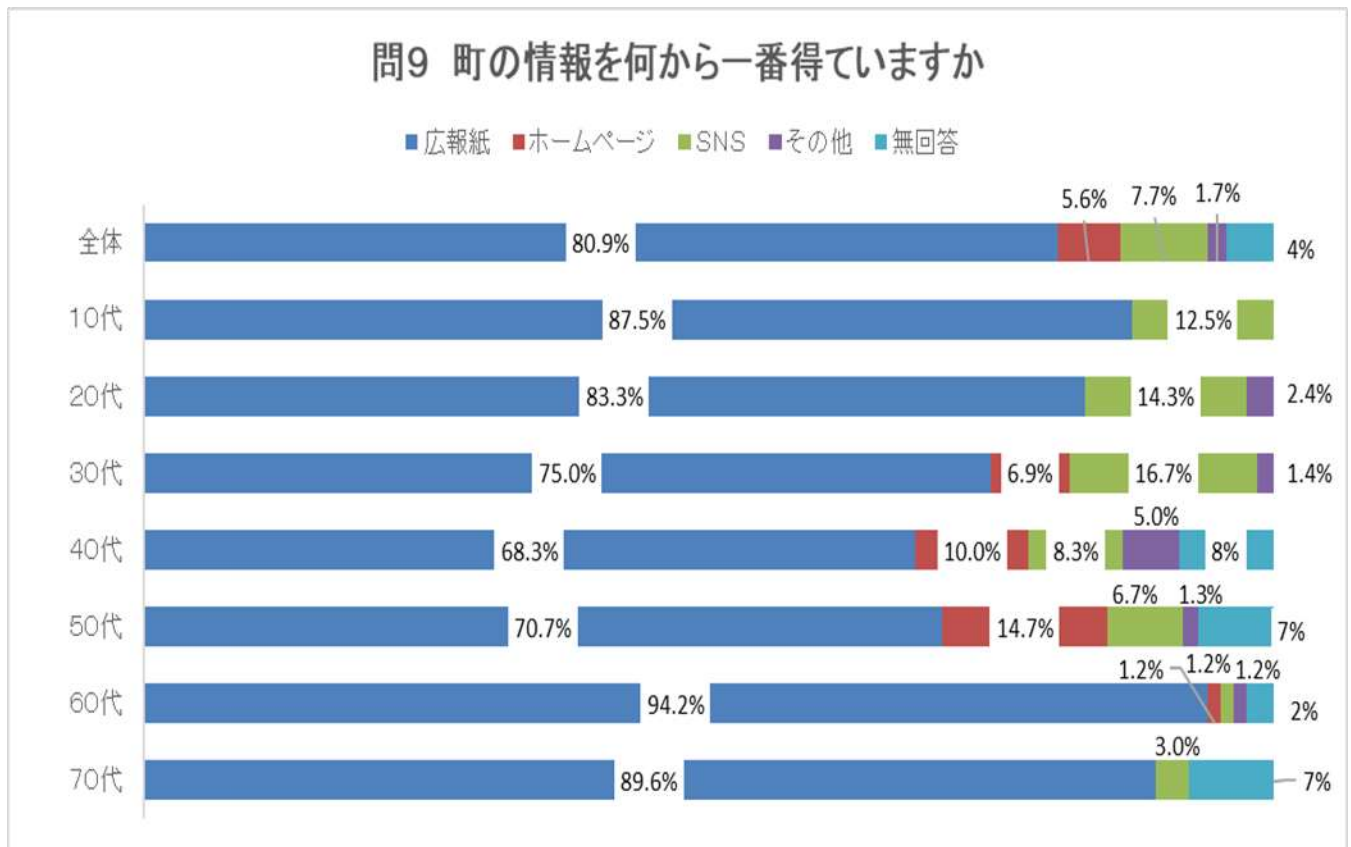
1 3	安心して医療を受けることが出来ている	8 4 . 6 %
1 4	老後も不安なく暮らせる	8 2 . 1 %
4 4	町の手続きはスムーズに行える	7 9 . 8 %

『重要でない』の上位項目

4	誰もが気軽に学べる環境がある	2 3 . 0 %
3 2	中心市街地に賑わいがある	1 3 . 6 %
1 7	消防団活動が活発に行われている	1 1 . 3 %
3 4	まちが観光客で賑わっている	1 1 . 3 %

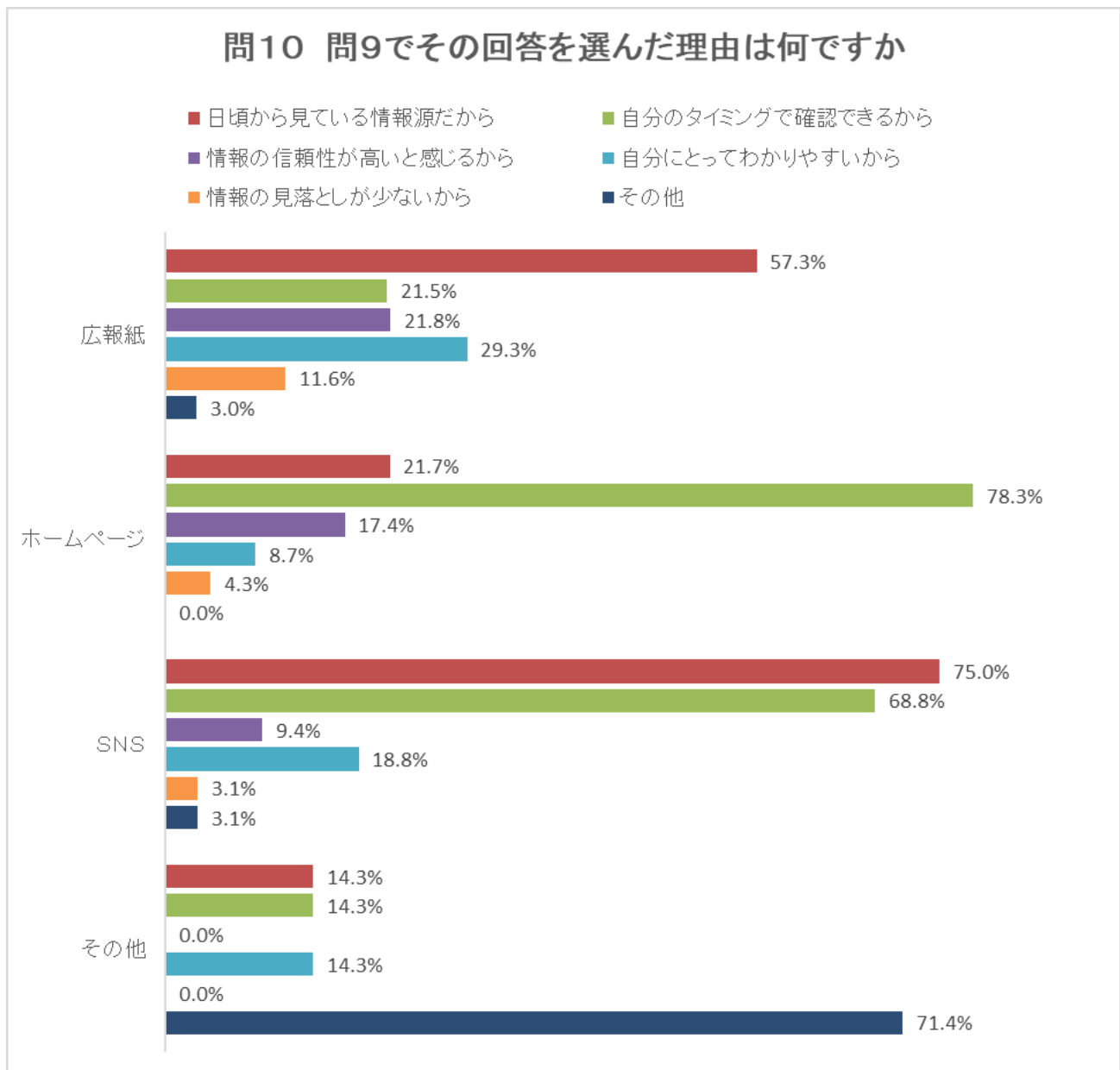
【問9】町の情報の取得方法について

- ・「広報紙」から情報を得ていると回答した人の割合は、全体で約80%という結果でした。割合が一番低い40代でも約68%と、すべての年代で「広報紙」と回答する割合が多くなりました。



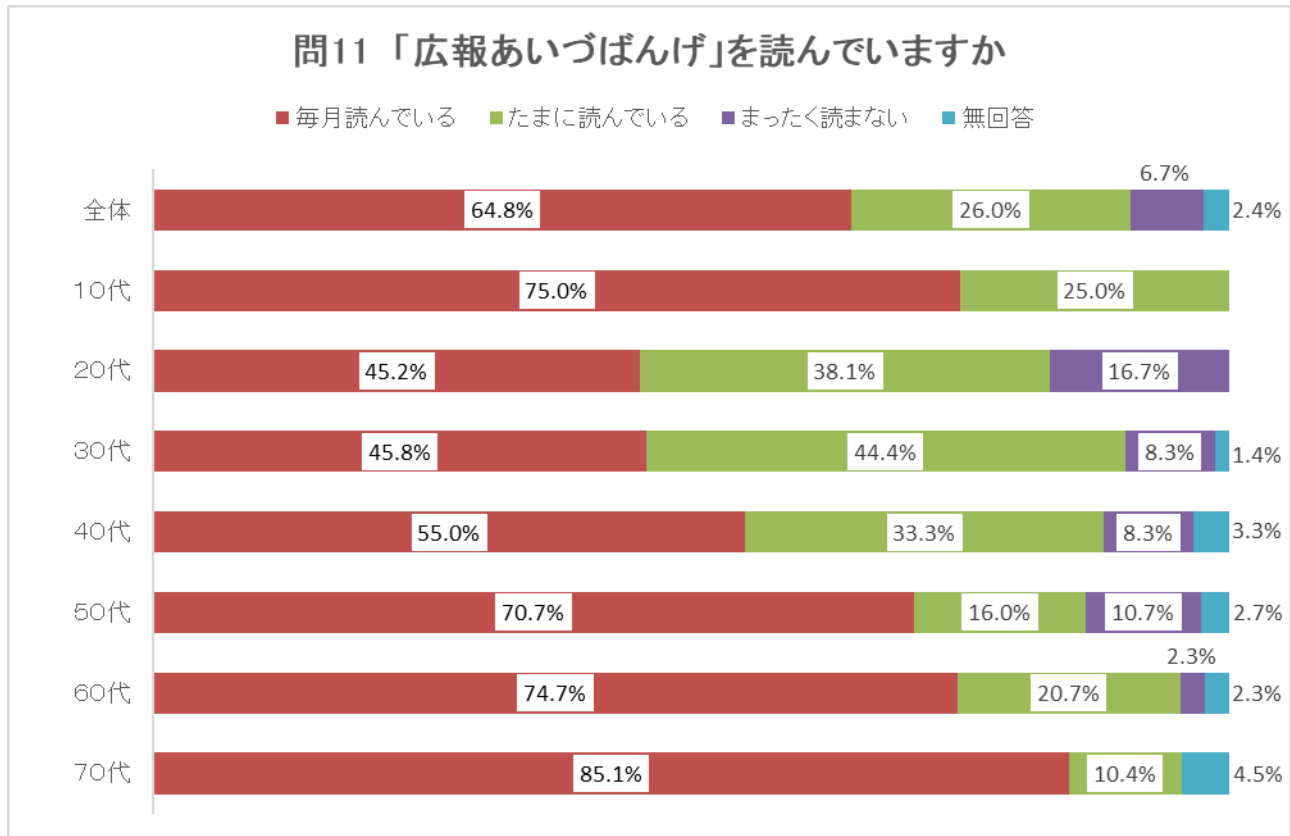
【問 10】町の情報の取得方法を選んだ理由について（複数選択）

- ・「広報紙」から情報を得ていると回答した人の中では、「日頃見ている情報源だから」と回答した人が一番多く約 57 %となりました。
- ・「ホームページ」と回答した人の中では、「自分のタイミングで情報を確認できるから」が約 78 %となりました。
- ・「SNS」と回答した人は、「日頃見ている情報源だから」が 75 %、「自分のタイミングで情報を確認できるから」が約 68 %となりました。



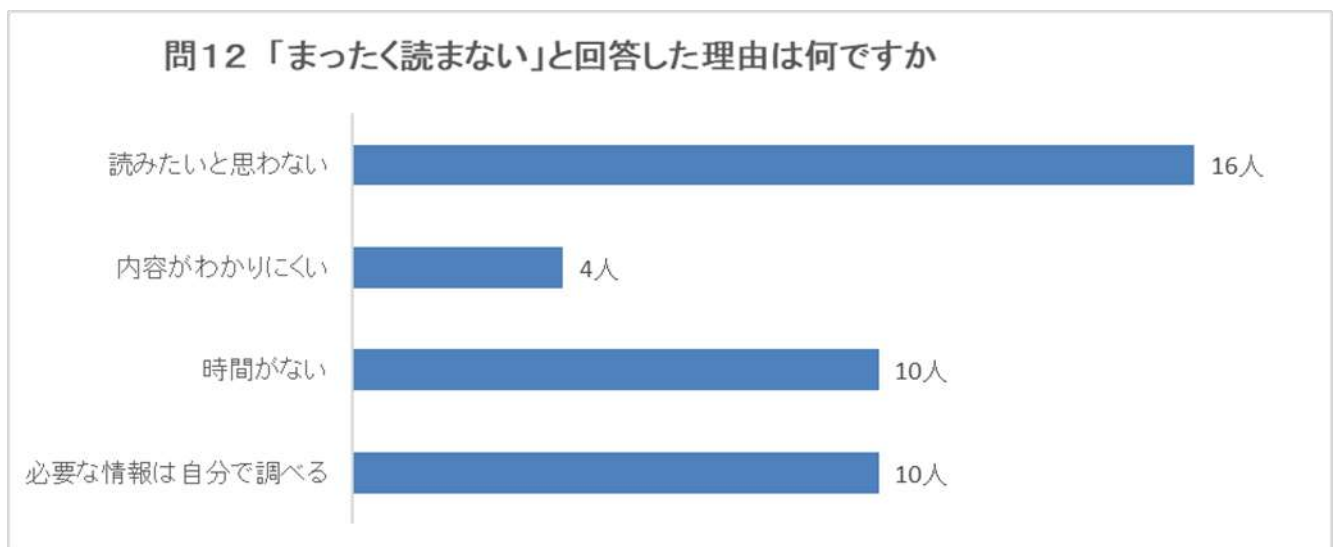
【問１１】「広報あいづばんげ」について

- ・「毎月読んでいる」と回答した人の割合が最も高く、「たまに読んでいる」を合わせると、約９割の人が「広報あいづばんげ」を読んでいるという結果になりました。



【問１２】問１１で「まったく読まない」と回答した理由について

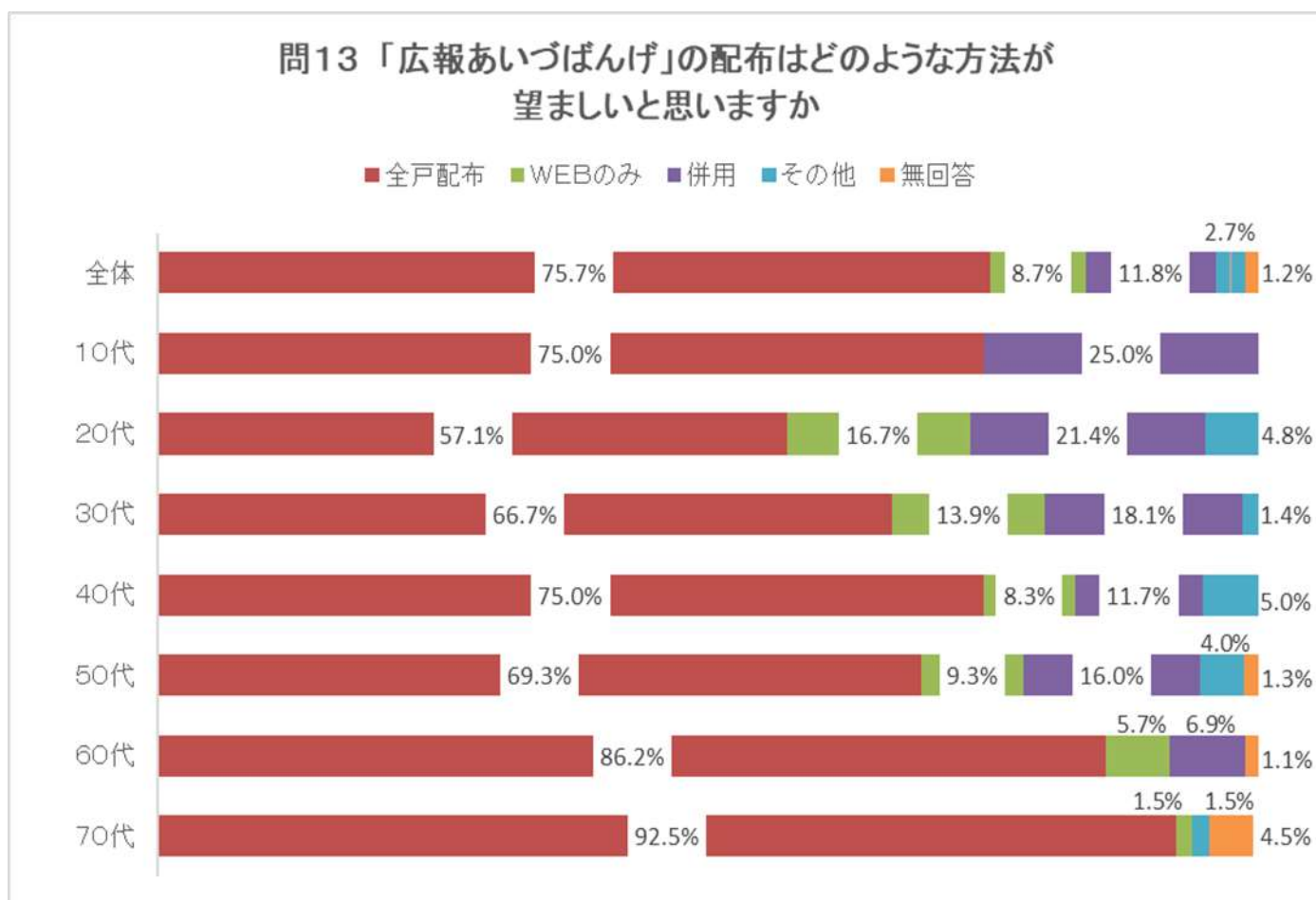
- ・「まったく読まない」と回答した理由としては、「読みたいと思わない」という回答が一番多く、次に「時間がない」「必要な情報は自分で調べる」という順となりました。



【問 13】 「広報あいづばんげ」の配布方法について

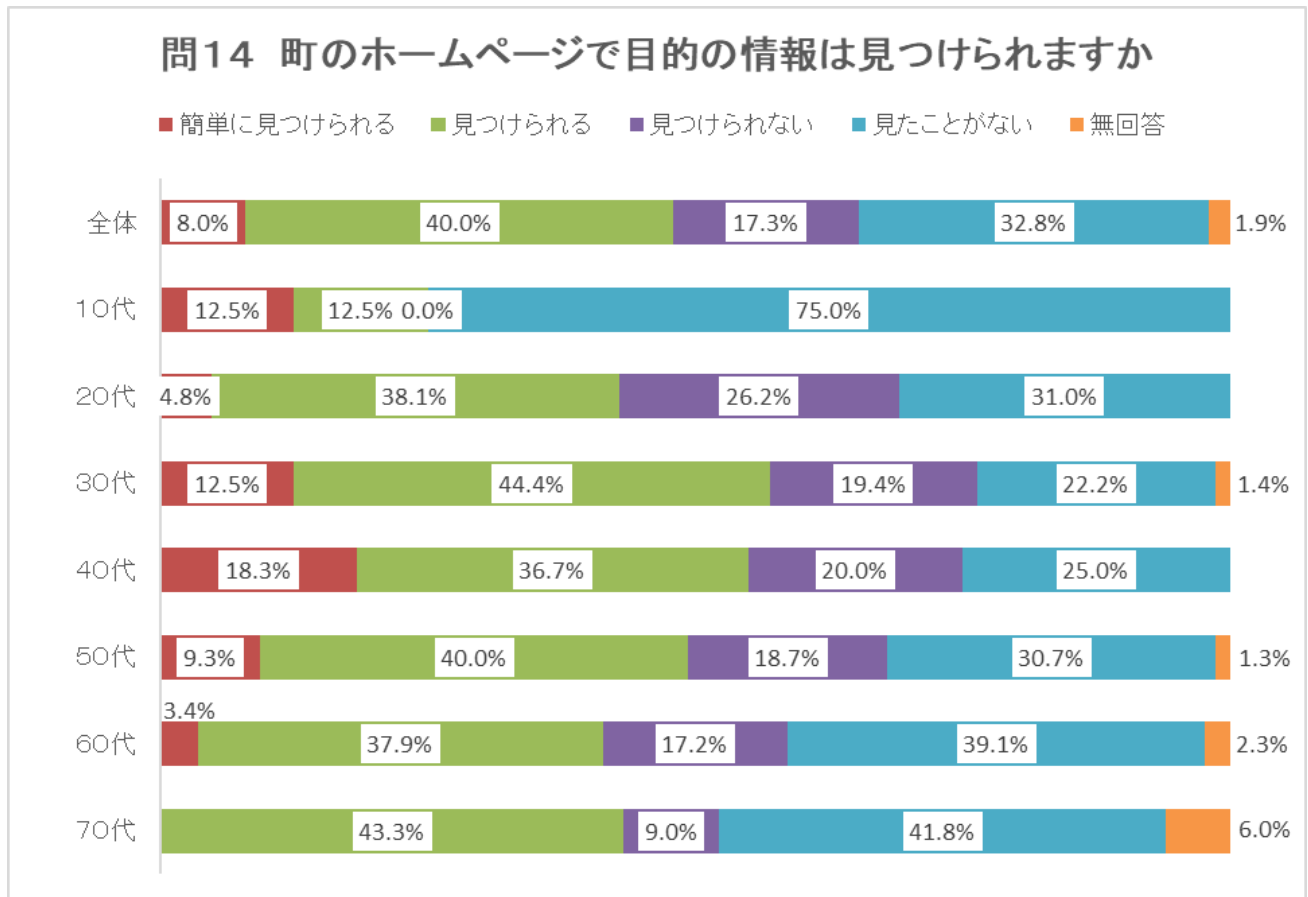
- ・「広報あいづばんげ」の配布方法として「全戸配布」を希望する割合が最も高く全体で75.7%となりました。

また、「公共施設での配布とWEB配信の併用」と回答した人は年代が若くなるほど割合が高くなる傾向となりました。



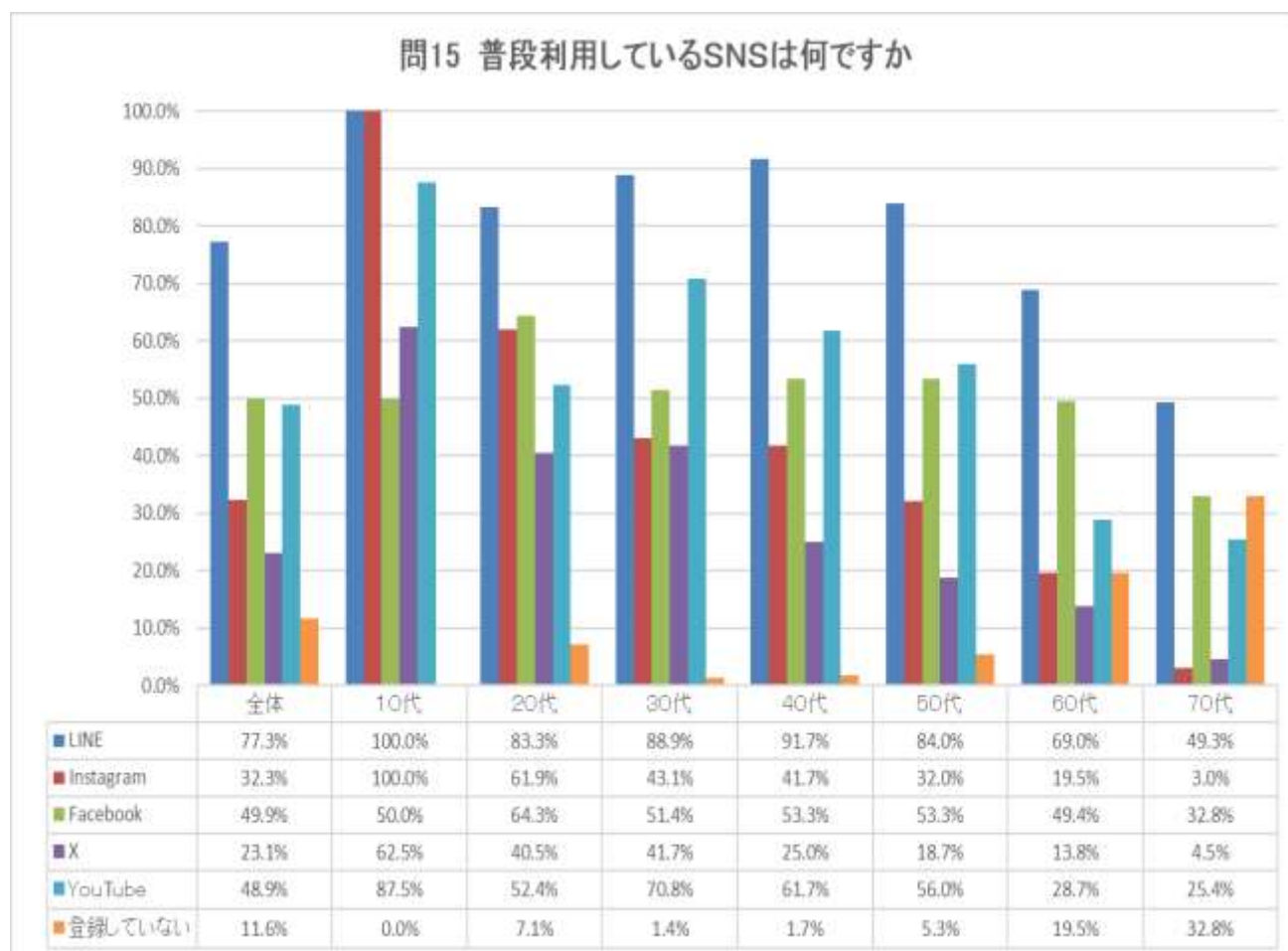
【問 1 4】町のホームページについて

- ・町のホームページで目的の情報が見つけれられるかという問いに対し、「簡単に見つけられる」と「見つけられる」を合わせると48%となりました。
- ・ホームページを「見たことがない」という割合は全体で約33%であり、60代で約39%、70代で約42%、10代では75%という結果でした。



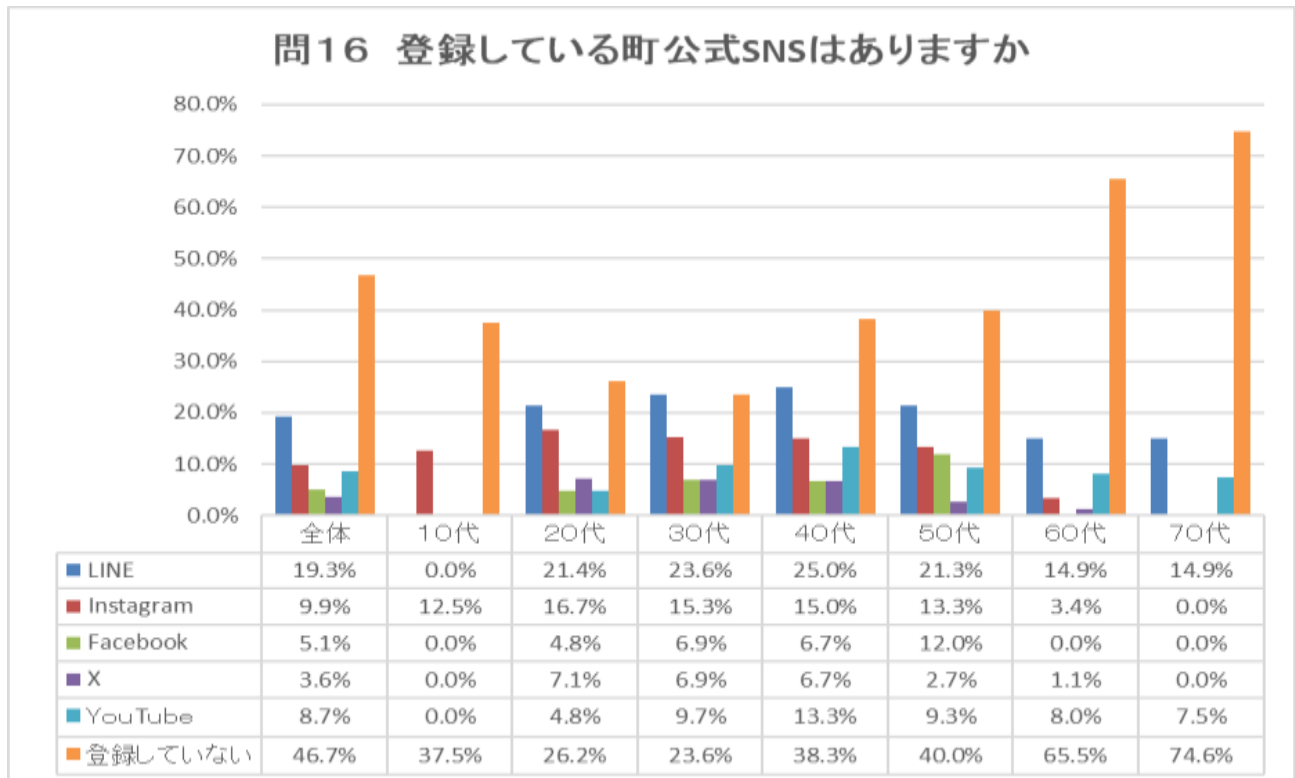
【問15】SNSの利用について（複数選択）

- ・SNSの中で普段から利用しているものは、「LINE」を利用している割合が全体で一番高く77%となっており、全年代で一番高い割合となりました。
- ・次に多かったのは「Facebook」と「YouTube」で、どちらも約50%の方が利用しているという結果でした。



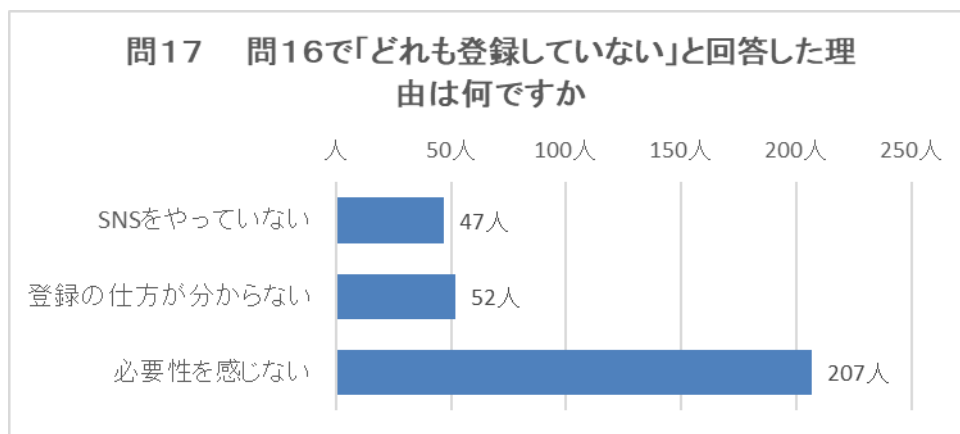
【問 16】町の公式SNSについて（複数選択）

- ・町の公式 SNS で登録しているものとして、「LINE」が最も多く全体で約 19 %の方が登録していました。年代別で見ると 40代が最も多く、20代～50代で 20 %～25 %となりました。
- ・「何も登録していないと答えた割合は全体で約 46 %となりました。10代から50代で 40 %以下となっていたことに比べ、60代では約 65 %、70代では約 75 %が登録していないという結果でした。



【問１７】問１６で「どれも登録していない」と回答した理由について

- ・「どれも登録していない」と回答した理由として、「必要性を感じていない」という回答が一番多く、次に「登録の仕方がわからない」、「ＳＮＳをやっていない」という順となりました。

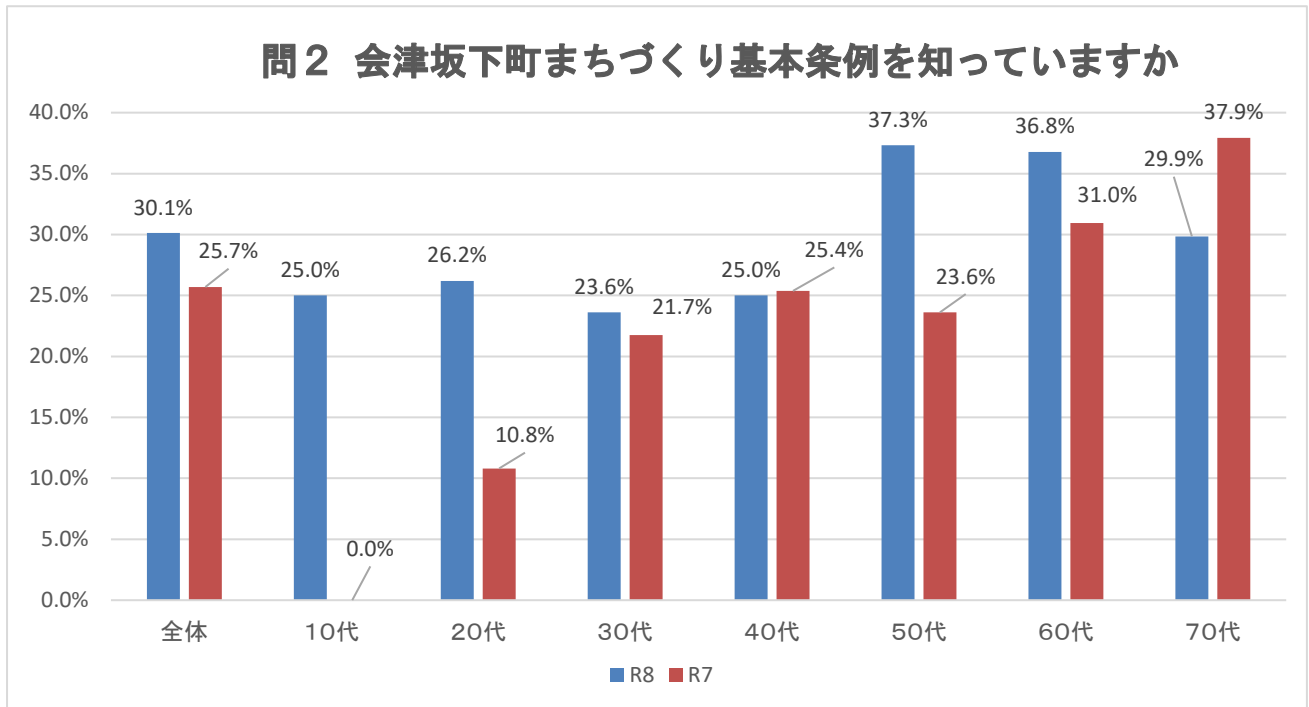


4. 前回調査結果との比較（問2～問8－1・2）

令和7年実施の住民満足度調査結果と比較したものをグラフにしました。

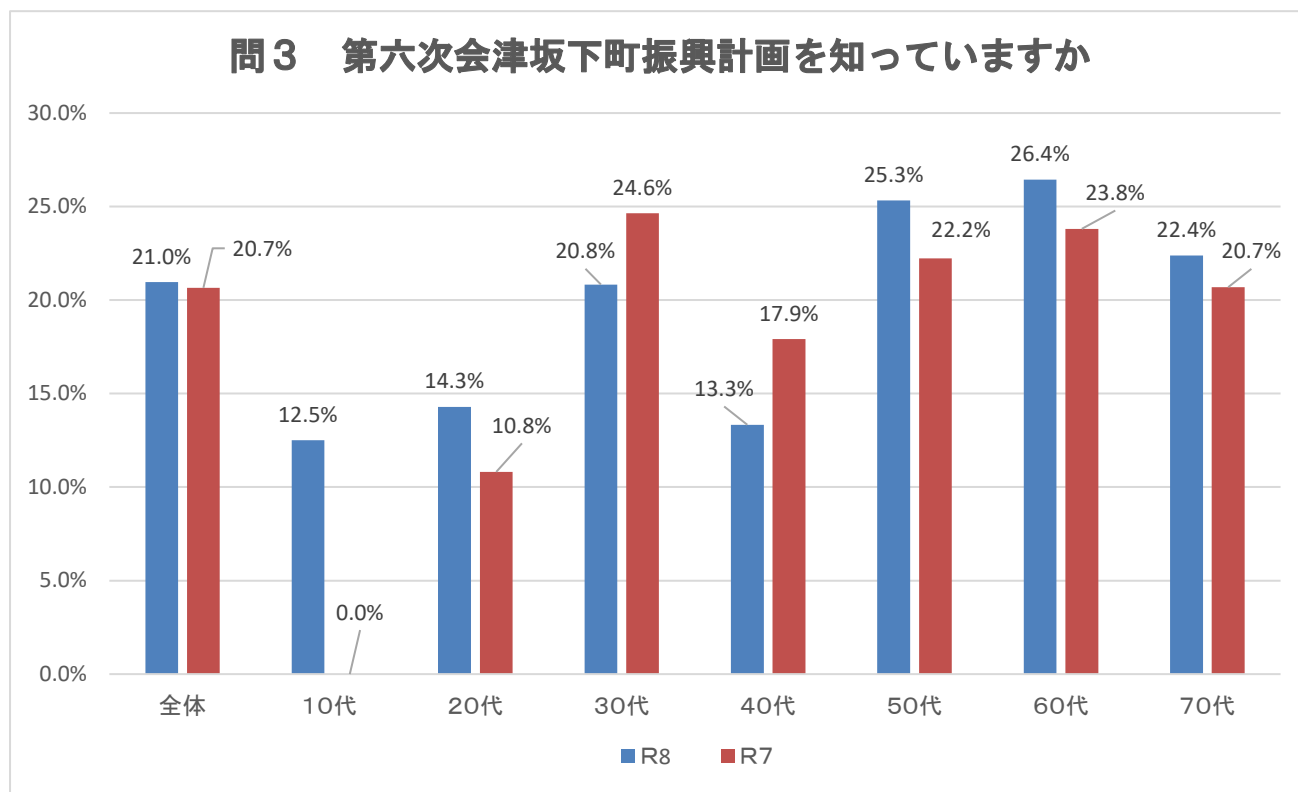
【問2】会津坂下町まちづくり基本条例の認知度について

会津坂下町まちづくり基本条例を「知っている」と回答した人の割合を年代ごとに比較しました。「知っている」と回答した人の割合が前回結果と比較し、増加したのが10代、20代、30代、50代、60代でした。全体的に知っていると回答した人の割合が増加しており、特に10代の増加が一番大きい結果となりました。



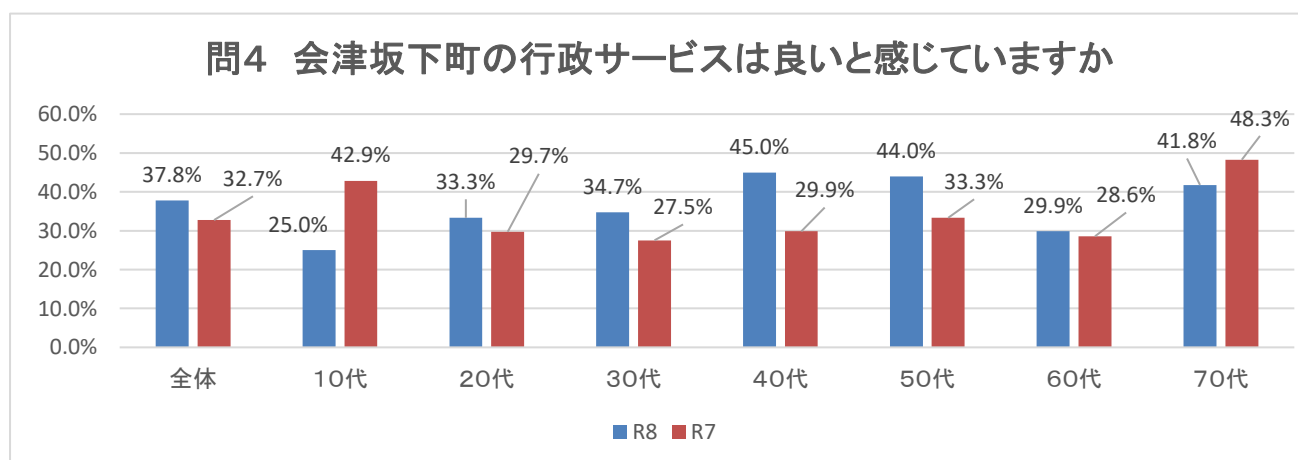
【問 3】 第六次会津坂下町振興計画の認知度について

第六次会津坂下町振興計画を「知っている」と回答した人の割合を年代ごとに比較しました。「知っている」と回答した人の割合が増加したのは10代、20代、50代、60代、70代でした。全体的に知っていると回答した人の割合は増加しており、特に10代の増加が最も大きい結果となりました。



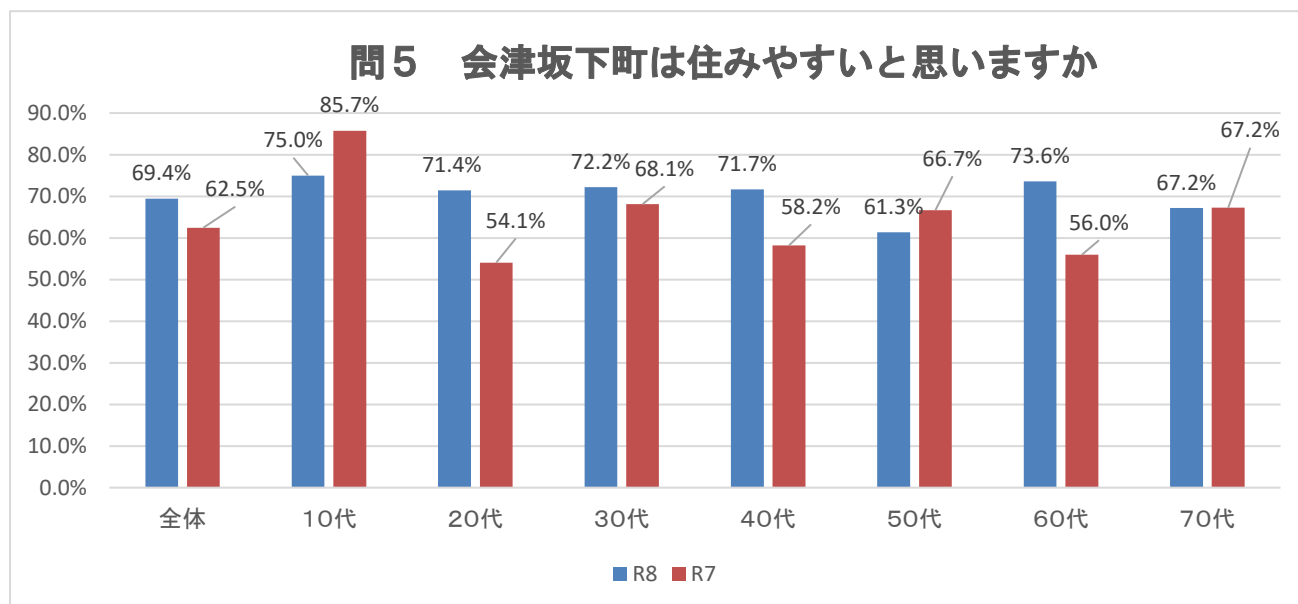
【問 4】 会津坂下町の行政サービスについて

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『そう感じる』の回答割合を年代ごとに比較しました。『そう感じる』と回答した人の割合が最も増加したのは40代でした。しかし、10代については17.9%減と最も減少が大きい結果となりました。



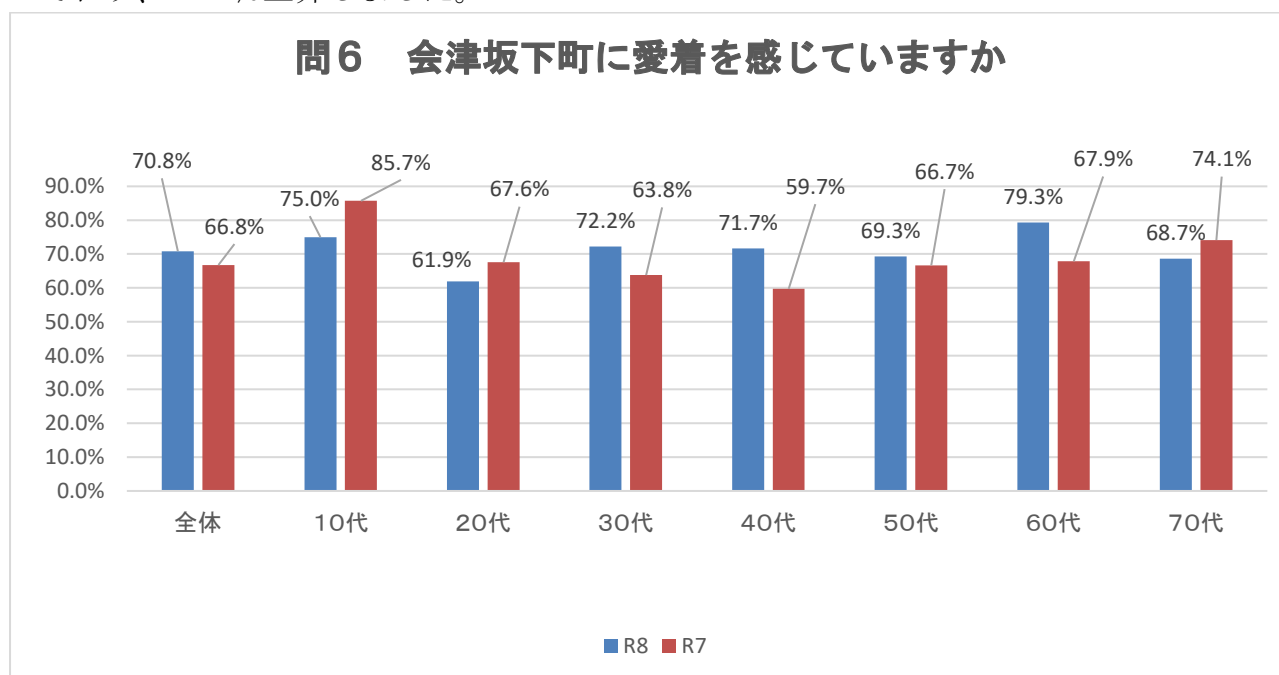
【問5】会津坂下町の住みやすさについて

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』の回答割合を年代ごとに比較しました。前回結果も含め全ての年代で『住みやすい』と回答した人の割合が半数を超えました。また、『住みやすい』と回答した人の割合が最も増加したのは60代となっており、17.6%上昇しました。



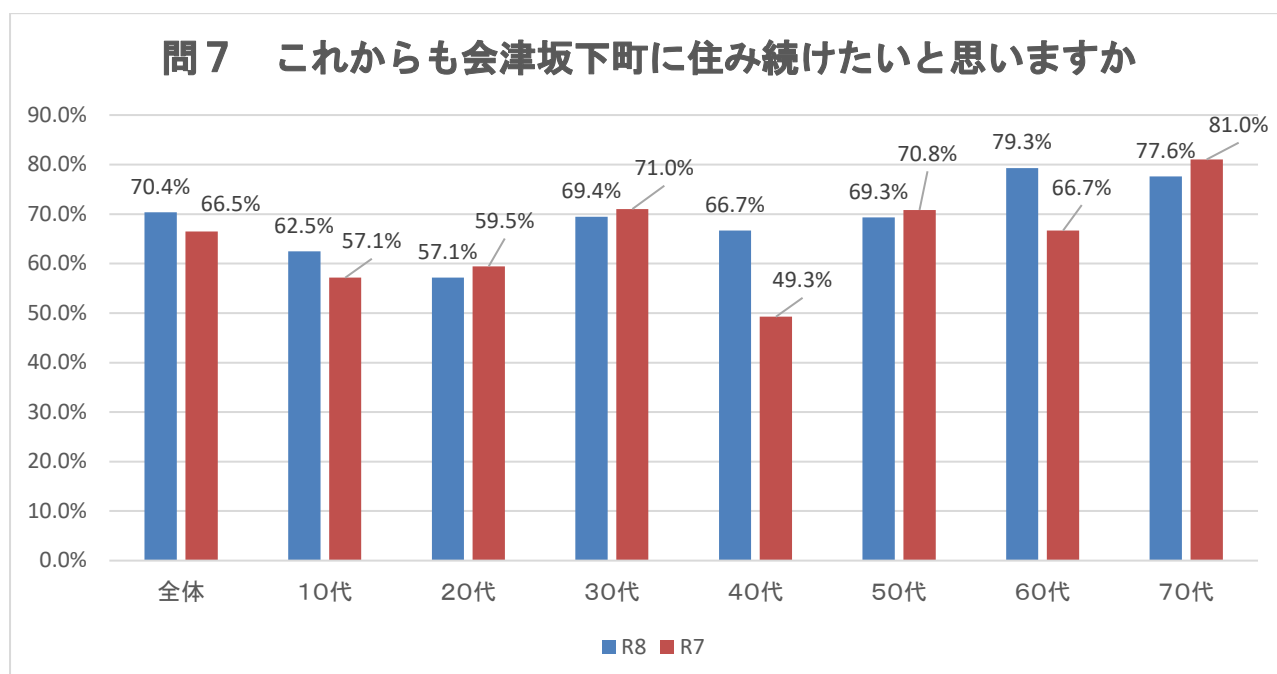
【問6】会津坂下町に対する愛着について

「感じている」「やや感じている」を合わせた『感じている』の回答割合を年代ごとに比較しました。前回、今回ともに『感じている』と回答した人の割合は全ての年代で半数を超えました。また、『感じている』と回答した人の割合が最も増加したのは40代となっており、12%上昇しました。



【問 7】会津坂下町への今後の定住意向について

「住み続けたい」「住み続けてもいい」を合わせた『住み続けたい』の回答割合を年代ごとに比較しました。20代、30代、50代、70代が『住み続けたい』と回答した人の割合が減少しました。一方、40代については17.4%と大きく増加しました。



【問 8－1、2】まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度・重要度

「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』及び「重要」「やや重要」を合わせた『重要』の回答割合となっています。

★印の設問については第六次会津坂下町後期基本計画において重点施策と位置づけられているものです。

基本施策 自ら学び、学び合う「ひとづくり」

【満足度】

- ・全体的に増加しましたが、「2 地域と学校との間で交流がある」が前回と比較し4.9%と特に増加しました。

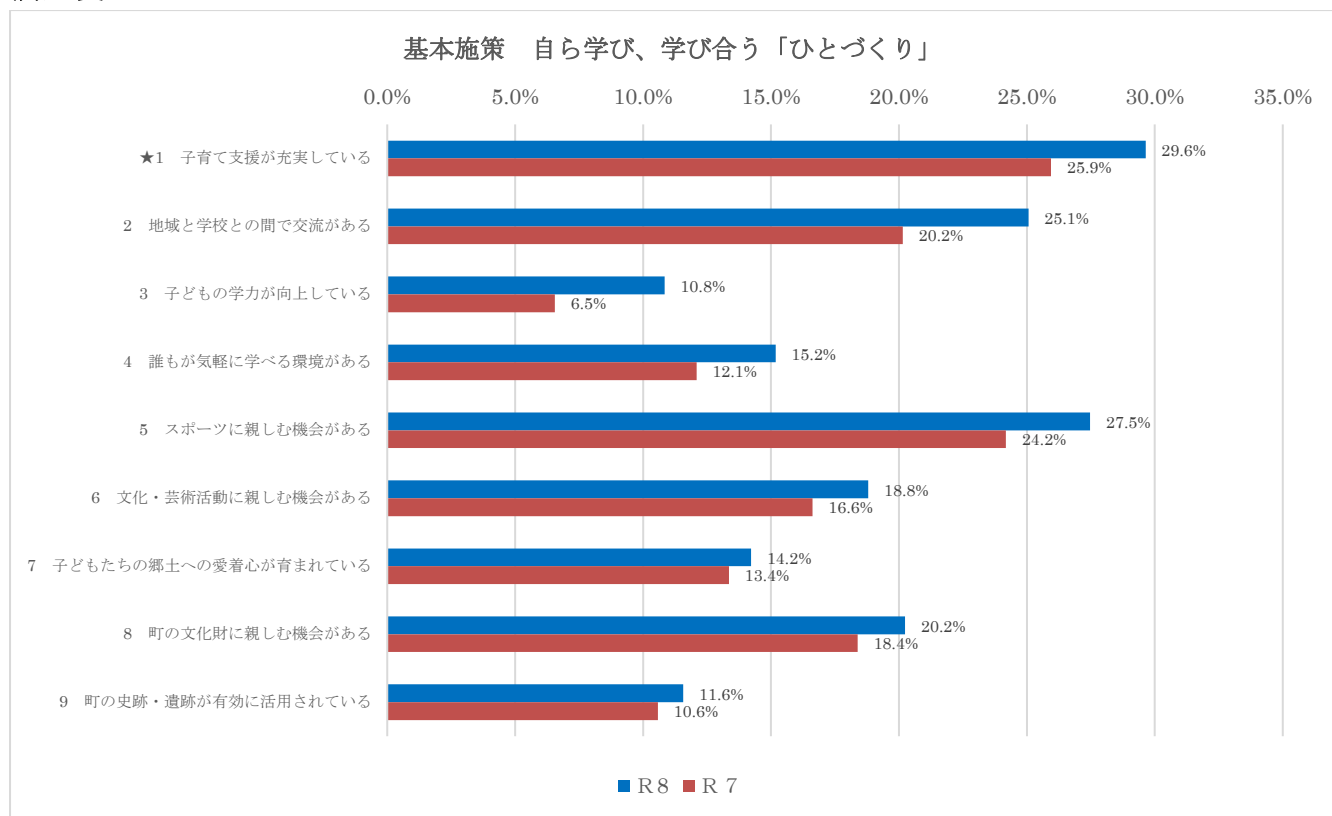
【重要度】

- ・増加傾向にありますが、「5 スポーツに親しむ機会がある」、「7 子どもたちの郷土への愛着心が育まれている」、「9 町の史跡・遺跡が有効に活用されている」については前回と比較し減少しました。

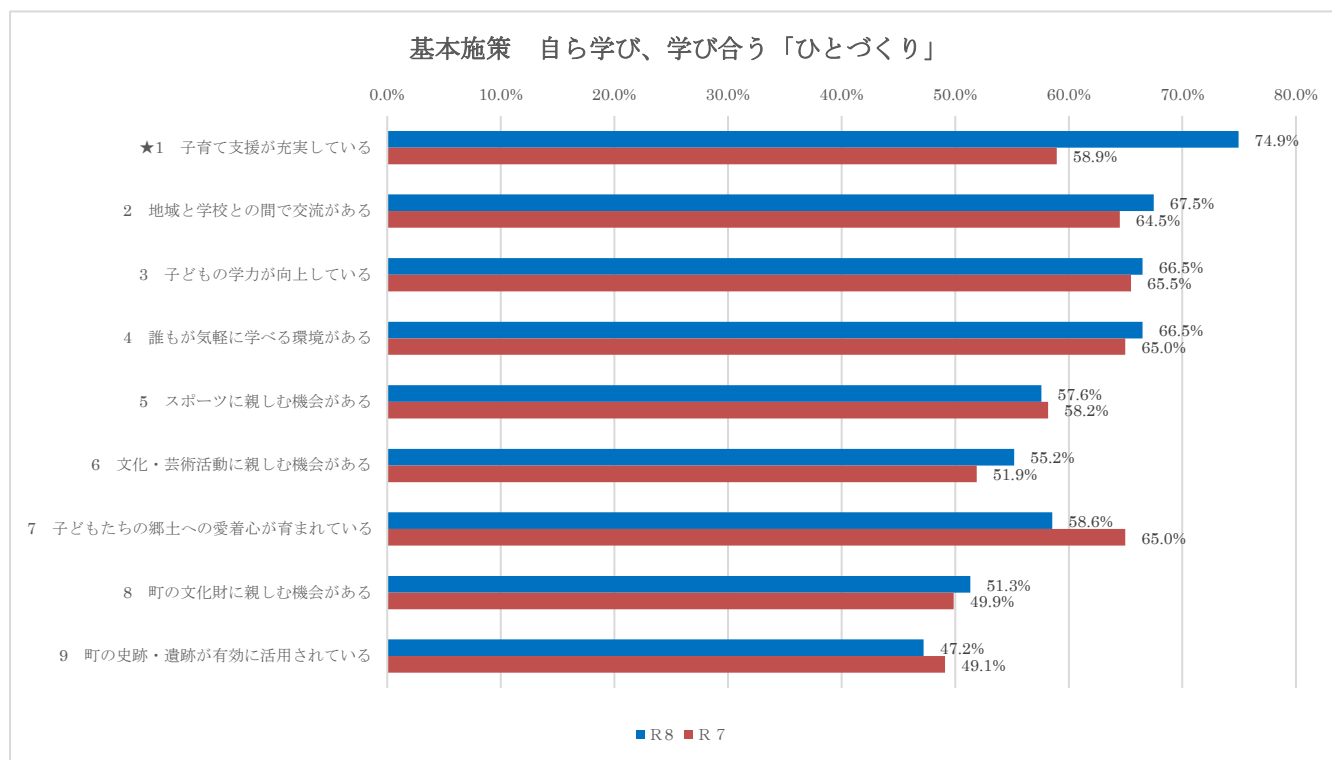
【重点施策：人口減少対策】

- ・「1 子育て支援が充実している」の満足度・重要度ともに前回と比較し、大幅に増加しました。

満足度



重要度



基本施策 安心・安全で、快適な「くらしづくり」

【満足度】

「20 ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている」について7.3%と最も増加しました。

【重要度】

・「13 安心して医療を受けことが出来ている」は前回と比較し、12.6%と大幅に減少しました。

【重点施策：担い手の確保】

・「15 障がいをもった人が不便なく暮らせる」の満足度は、11.6%と低い一方で、重要度は75.7%と7割以上が重要であるとの結果になりました。

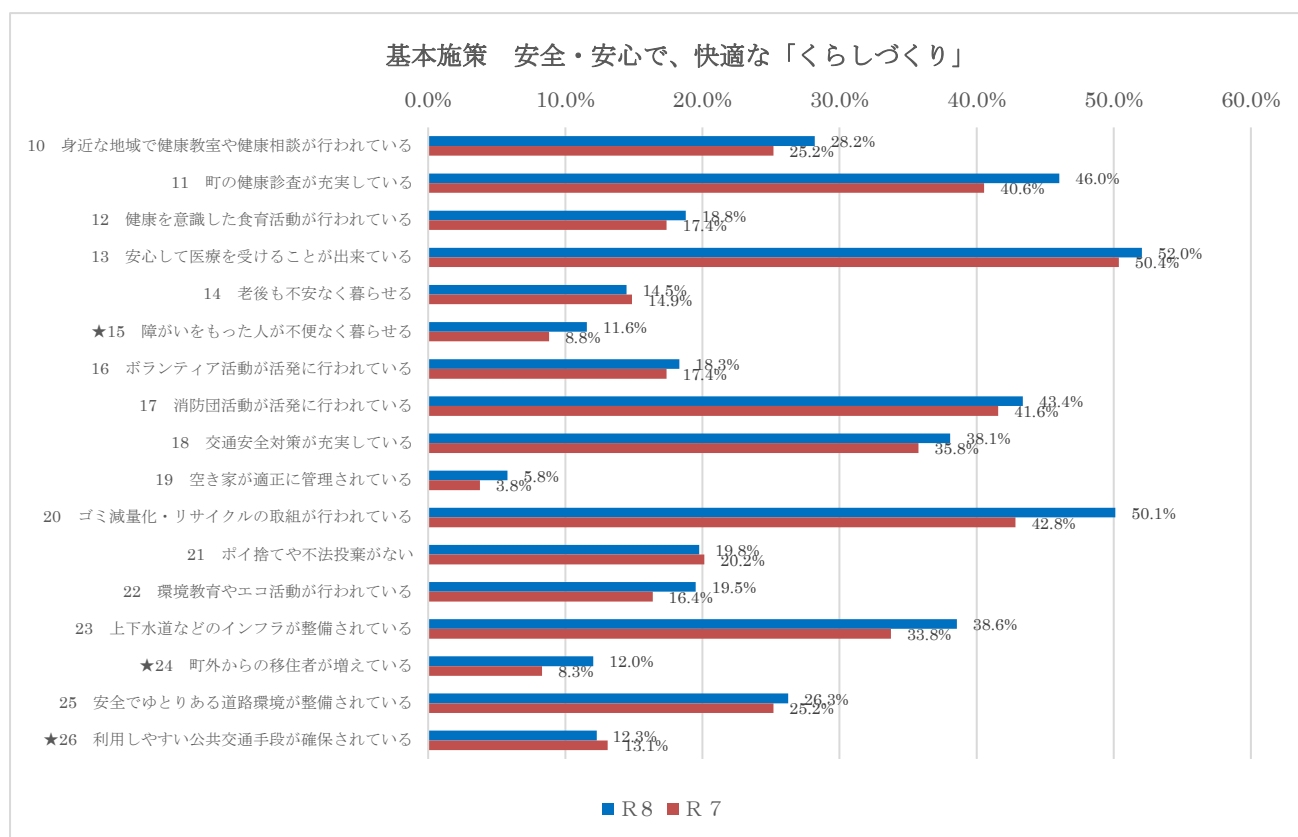
【重点施策：人口減少対策】

・「24 町外からの移住者が増えている」の満足度については、12%と低い一方で、重要度については50%以上と半数以上が重要であるとの結果になりました。

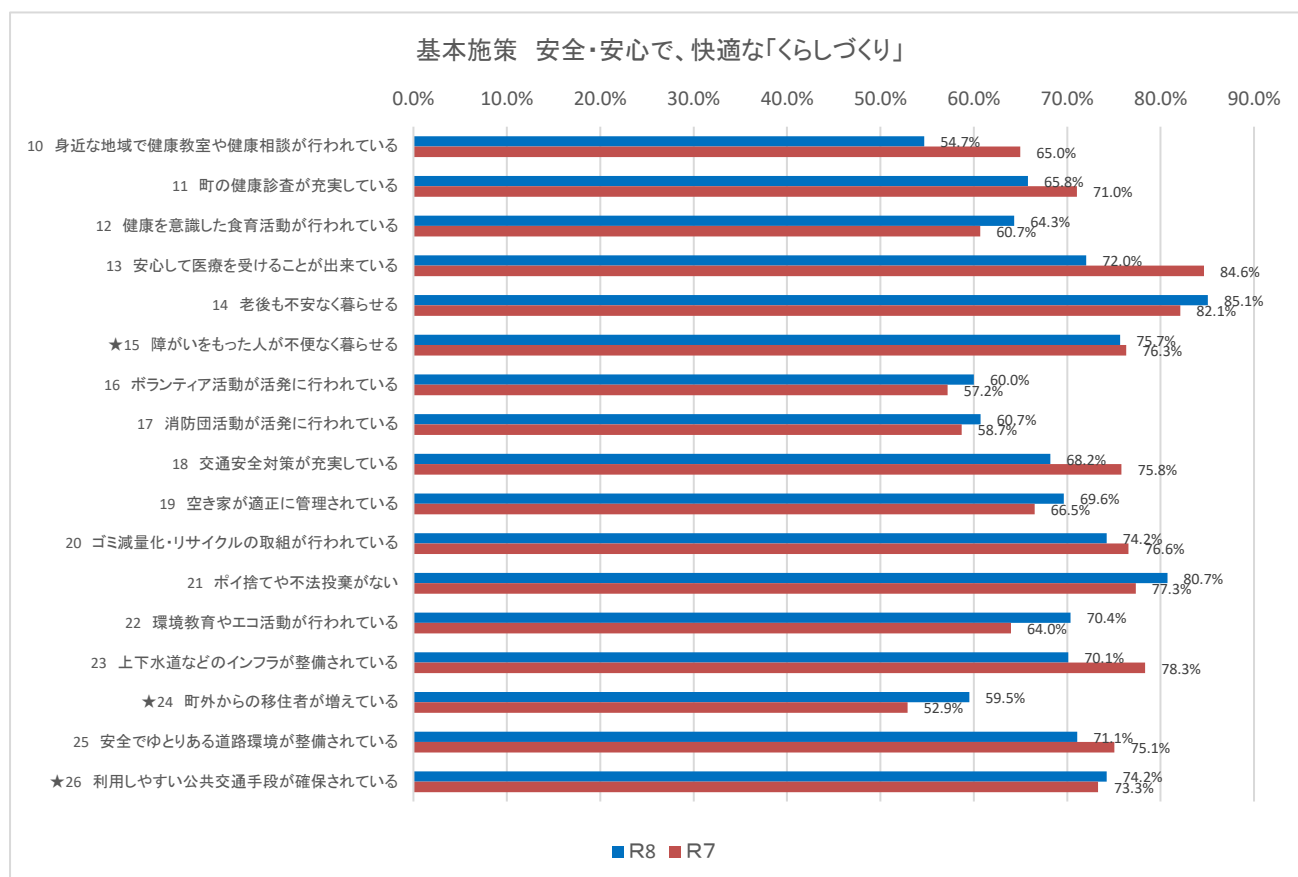
【重点施策：公共交通対策】

・「26 利用しやすい公共交通手段が確保されている」の今年度の満足度は12.3%と低い一方で、重要度は74.2%と7割以上が重要であるとの結果になりました。

満足度



重要度



基本施策 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」

【満足度】

- ・前回と比較し、「２９農地・用水路が適切に維持されている」が、前回と比較し６．９％と特に増加し、次いで「３１町産品の情報発信が効果的に行われている」が６．５％増加した結果となりました。

【重要度】

- ・前回と比較し、「３１町産品の情報発信が効果的に行われている」が、７．８％と特に減少し、次いで「３３町内の企業に活気がある」が３．８％減少した結果となりました。

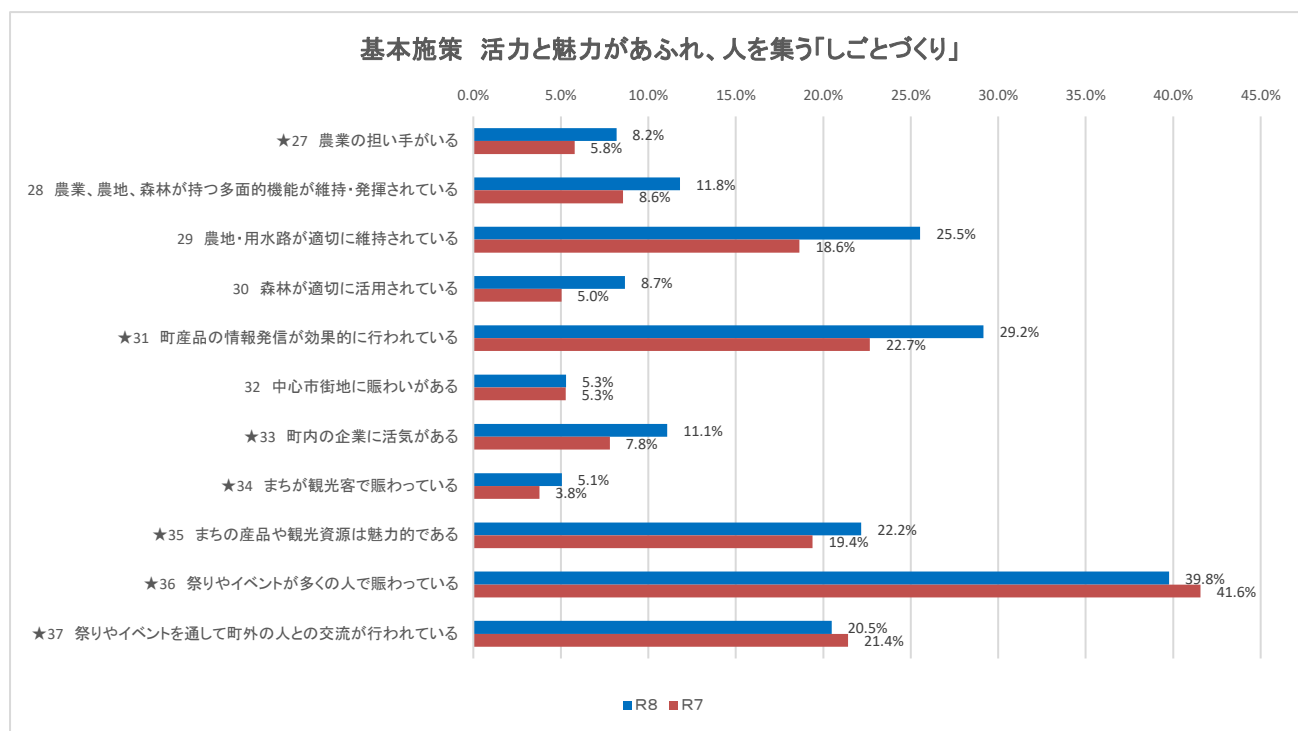
【重点施策：担い手の確保】

- ・「２７農業の担い手がいる」の満足度について前回・今回ともに１０％以下と低い一方、重要度は約７割が重要であるとの結果となりました。
- ・「３３町内の企業に活気がある」の満足度については前回と比較し３．３％増加しました。一方で、重要度について３．８％と減少しました。
- ・「３４まちが観光客で賑わっている」の満足度は前回・今回ともに１０％未満と低い一方、重要度は半数以上が重要であるとの結果となりました。
- ・「３５まちの産品や観光資源は魅力的である」の満足度については前回と比較し２．８％増加しました。一方で、重要度は３％減少しました。
- ・「３６祭りやイベントが多くの人で賑わっている」の満足度について前回と比較し、１．８％減少しました。また重要度についても前回と比較し２．２％減少しました。
- ・「３７祭りやイベントを通して町外の人との交流が行われている」の満足度について前回と比較し、０．９％減少しました。一方で、重要度については前回と比較し１．１％増加しました。

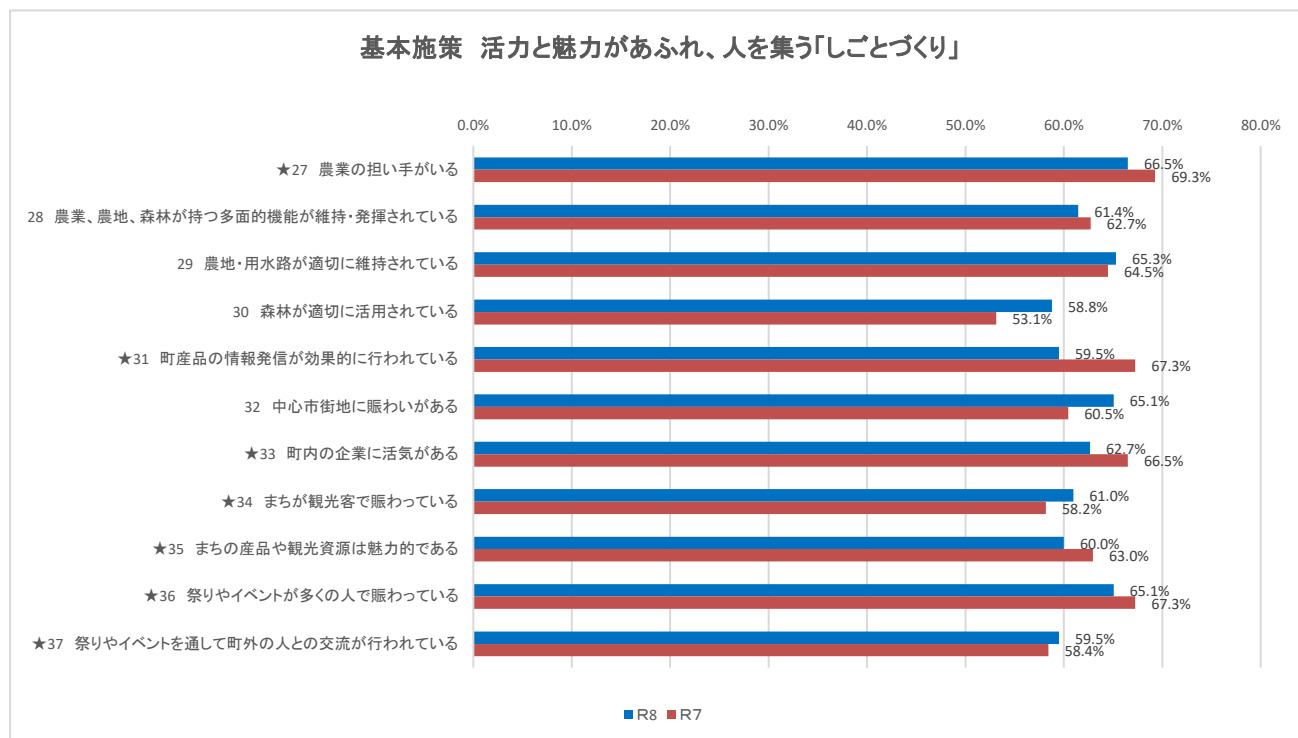
【重点施策：人口減少対策】

- ・「３１町産品の情報発信が効果的に行われている」は前回と比較し、満足度は６．５％と大幅に増加しました。一方で、重要度は７．８％と大幅に減少しました。

満足度



重要度



【満足度】

- ・前年度と比較し、「４４町の手続きはスムーズに行える」が１．９％減少しました。一方で、その他の全ての項目については増加傾向となりました。

【重要度】

- ・前回と比較し、「４３町職員の仕事は信頼できる」が７．４％と特に減少し、次いで、「３８住民・地域・行政・各種団体が連携している」が５．７％減少した結果となりました。

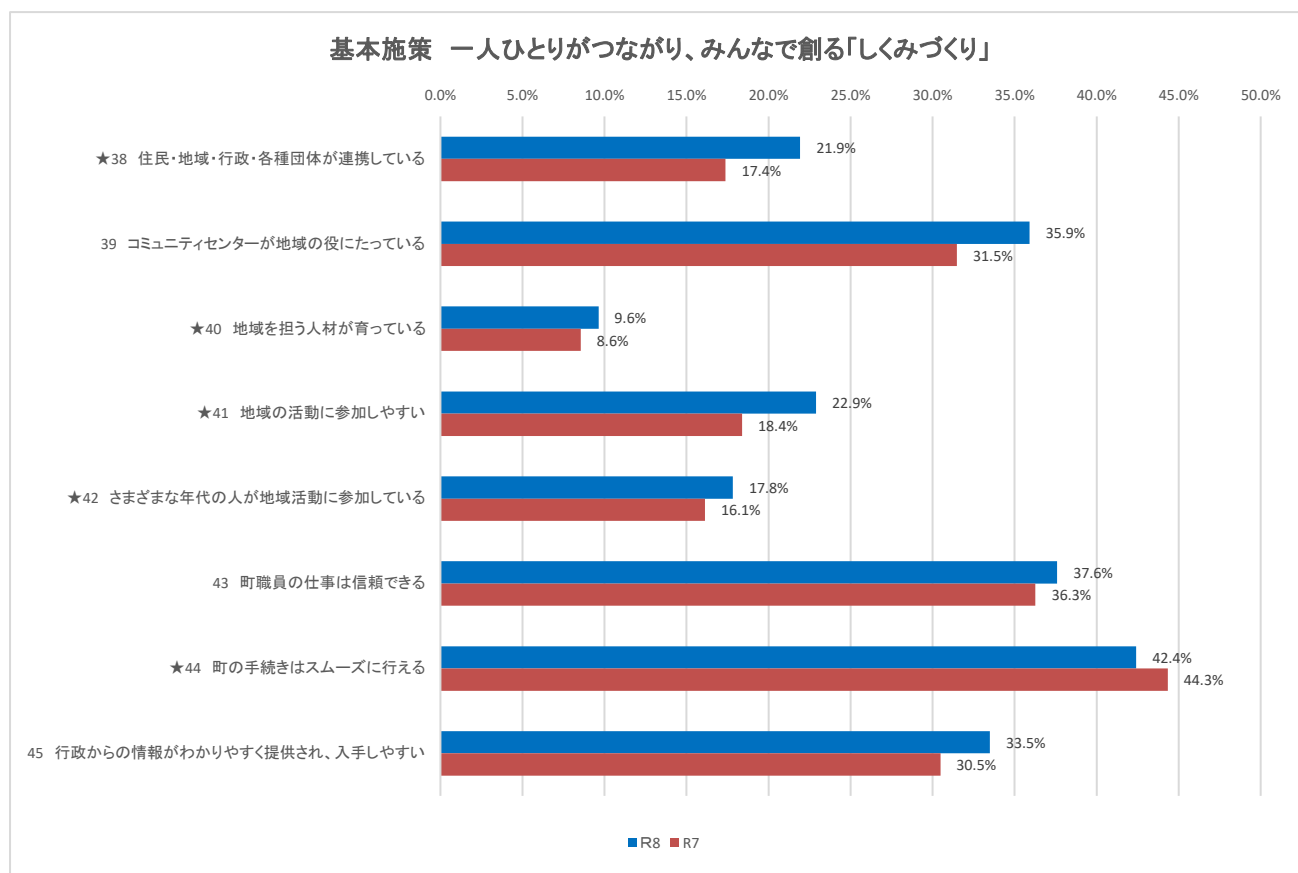
【重点施策：担い手の確保】

- ・「３８住民・地域・行政・各種団体が連携している」の満足度については、前回と比較し、４．５％増加しました。一方で、重要度は、５．７％減少しました。
- ・「４０地域を担う人材が育っている」の満足度は前回と比較し１．０％増加しましたが、前回・今回ともに１０％未満と低い割合のままです。重要度については３．８％減少しました。
- ・「４１地域の活動に参加しやすい」の満足度については前回と比較し４．５％増加し、重要度についても、４．５％の増加となりました。
- ・「４２さまざまな年代の人が地域活動に参加している」の満足度については前回と比較し１．７％増加しましたが、重要度については３．１％の減少となりました。

【重点施策：ＤＸの推進】

- ・「４４町の手続きはスムーズに行える」の満足度については、前回と比較し１．９％減少しました。また、重要度についても前回よりも３．７％減少しました。

満足度



重要度

